

ソロデビューへの道

趣味から本格的な発表の場をつくるプログラム

01

育てる^{そだ}



事業内容

新しい施設では、誰でも気軽に習い事が始められ、それらを発表できる機会をつくります。最初は習い事でも、施設が行う講習会などのいくつかのメニューに参加し、テストに合格することで、ホールで演奏できる、展示会を開くことができるなど、発表の機会が用意されます。プロでなくても、いつかこの施設でソロデビューができるかもしれないというやる気を高めるプログラムです。

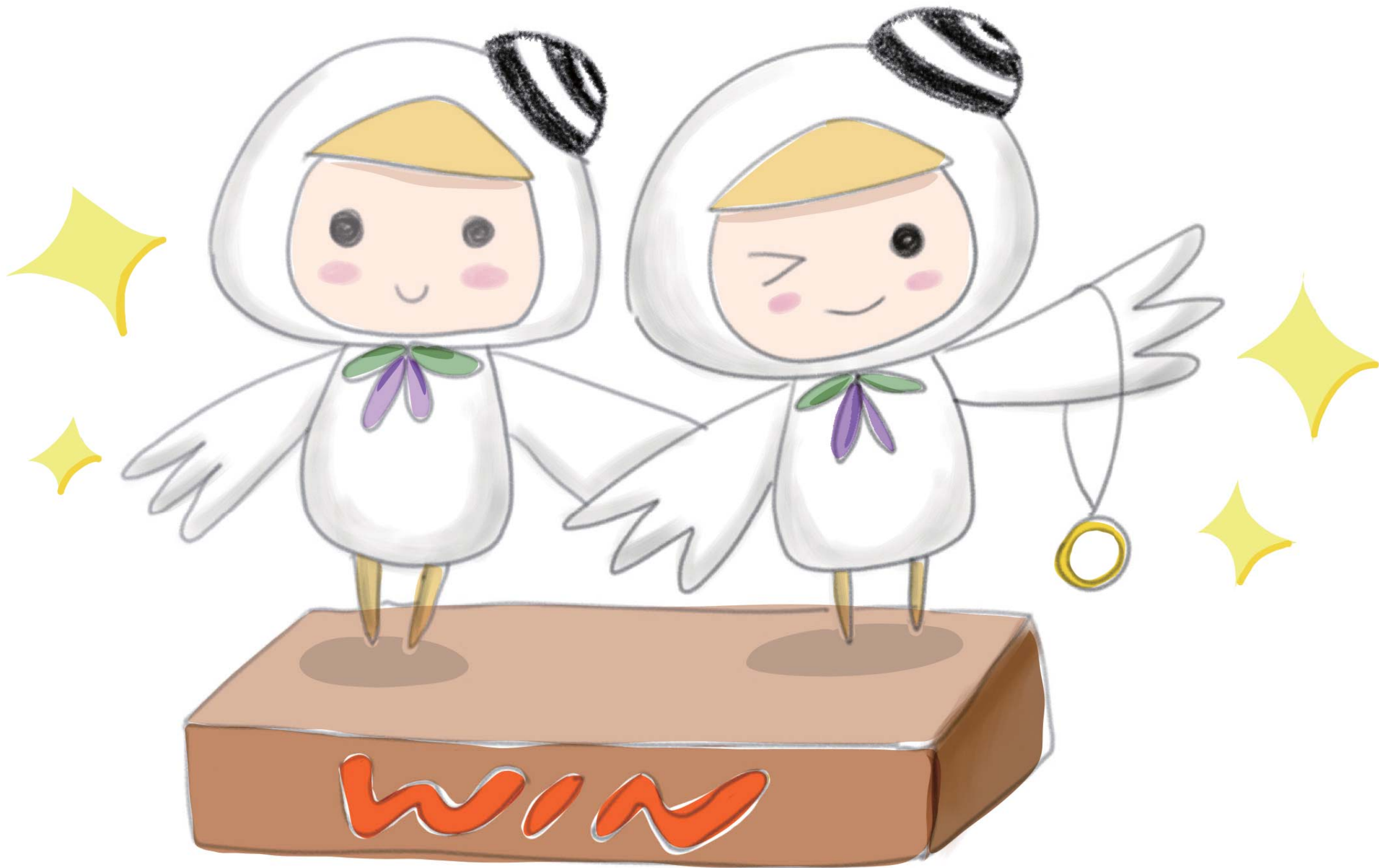
シール貼り位置

育^{そだ}てる

事業内容

これまで芸術や文化に興味のなかった人が興味を持つためには、まずは一度プロの公演を観ることで本物の感動を体験することが大切です。そのため、新しい施設が出来る前から事前イベントとしてプロの公演を市内各地で行っていきます。これは、市民が文化や芸術を身近に感じる機会をつくり、新しい施設を楽しみにすることにつながります。

シール貼り位置

育^{そだ}
てる

事業内容

施設が独自に行うコンクールは、その施設オンリーワンの魅力や価値を作り出します。例えば、千代田区立内幸町ホールのシャンソン・コンクールは、審査するだけでなく、参加している人の普段の活動や人柄などを伝えることを目標としており、参加者同士の関係も深まります。このことを参考に、苫小牧の特別な「苫小牧アワード」を何度も行うことで、周りの施設とは異なる特別な施設を目指します。

シール貼り位置



事業内容

「響きのソムリエ体験プロジェクト」では、ホールや練習室によって楽器や声の響き方の違いを体験し、音の響きと場所の関係を学んでいく企画です。一流のソムリエが顧客の予算や好みまでも考慮し喜ばせるように、このプロジェクトでは、響の良し悪しを学ぶだけでなく、響き方の違いも楽しみます。

シール貼り位置

とまこまい文化口座

施設に来るたび記録が残りポイントがもらえる会員システム

育^{そだ}てる

事業内容

とまこまい文化口座とは、施設に来た時に、自分の活動や体験を記録するシステムで、記録が貯まると、施設で利用できるポイントがもらえます。例えば公演を無料で鑑賞できたり、文化教室に出席できるなど、次の体験へつながります。また、口座間で情報のやりとりもでき、例えば、演劇に何度も通っている人には、演劇の情報が届くなど、活動・情報・人材バンクとしての機能を持ちます。

シール貼り位置



事業内容

子ども食堂は、地域のボランティアや寄附をもとに、子どもたちに、安くて栄養満点な食事を提供する取組です。「お茶の間フレンズ」では、新しい施設で子ども食堂の取組を行うことで、子どもたちにおいしい食事をとってもらい、さらに芸術や文化に囲まれ、安心してすくすくと成長できる環境づくりを目指します。

シール貼り位置

07 デコレーション大作戦

子どもたちの工作が舞台の飾りになるワークショップ

育^{そだ}てる



事業内容

普段から人々の近くに音楽や芸術のある暮らし方を広めるためには、幼い頃から何度も通いたくなるような施設の環境づくりがとても大切です。誰かが発表・展示しているものを見るだけではなく、その舞台の飾りを一緒につくることで、子どもたちやその家族、友人も楽しむことができます。

シール貼り位置

育^{そだ}てる

事業内容

子どもたちが芸術や文化にふれる機会をつくることは、将来、活躍する苫小牧っ子を育てることにつながります。例えば、小中学生はホールの利用を無料にしたり、自由に使うことのできる大型の楽器を用意することで、いつも良い環境で練習することができます。また、苫小牧出身の活躍している先輩の講座を受けることもできます。とまこまいキッズ基金は、子どもたちを地域ぐるみで応援する活動です。

シール貼り位置

01

レベルアップ！みんなの部室

活動場所の提供による様々な活動の連携と発展

集う^{つど}

事業内容

「レベルアップ！みんなの部室」は、今までの活動を新しい施設で行うことにより、より充実した活動へつなげることを目指す企画です。例えば、小学校のお楽しみ会や部活動の練習を学校の中だけで行うのではなく、新しい設備の整った施設や、専門スタッフのアドバイスを受けながら行います。新しい施設は、積極的に外部施設と連携する拠点になることを目指します。

シール貼り位置

02

しゅうまつ 週末マルシェ de ライブ

で
苫小牧の食べ物と市民の活動が出会うマルシェ

集う



事業内容

施設の周りの広場は、誰もが訪れることのできる大切な場所です。「週末マルシェdeライブ」は、施設の外で行う、市民の気軽な参加を目的とした無料のイベントです。土日のお昼に、とれたての野菜や魚を漁師さんから直接買えるマルシェ（市場）と一緒にコンサートを行うなど、子どもからお年寄りまで、丸一日、楽しめるイベントを目指します。

シール貼り位置

集^{つど}
う

事業内容

夜でも施設を使える日をつくることで、お祭りや合宿のようないつもと違う体験ができ、そこから人々の新しい交流や活動をつくる企画です。新しい施設では、普段はできない夜だけのイベントをつくり、仕事や学校帰りの充実した時間を過ごすことができます。また、施設の開館時間も市民の要望や活動に合わせたかたちを目指します。

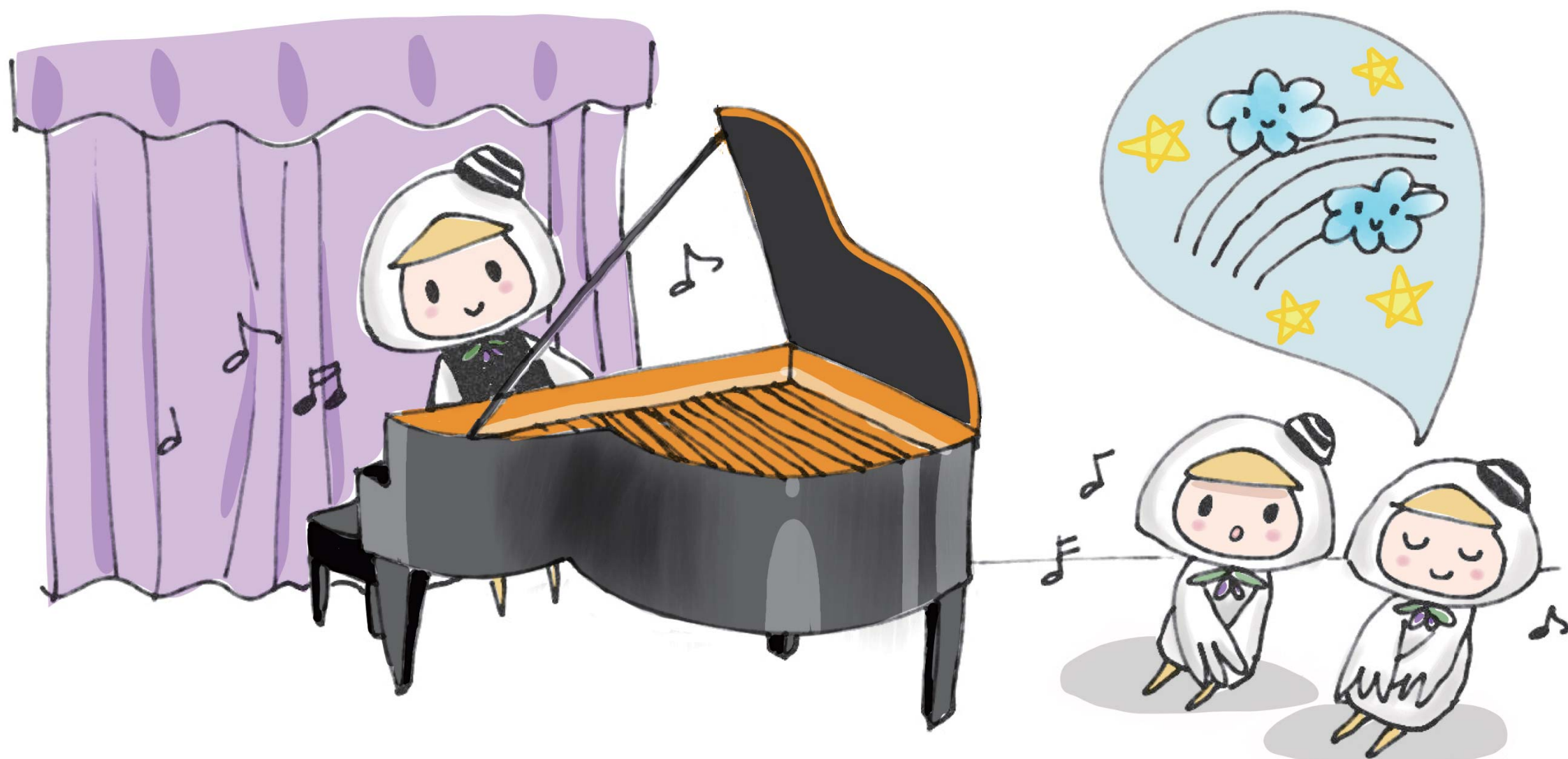
シール貼り位置

04

ふらっとコンサート

プロと市民と一緒に芸術を楽しむイベント

集^{つど}
う



事業内容

新しい施設では、普段は芸術に関心のない人々でも気軽にふらっと訪れるようにできることが大切です。そこで、苫小牧出身の若手ミュージシャンが見ている人を巻き込んでいく演奏会や、楽器体験会などの企画をつくっていきます。演者と参加者の境界をなくし、プロも市民もみんな文化芸術活動に親しむことのできるイベントは、気軽に施設へ足を向けるきっかけになります。

シール貼り位置

05 誰でもアクション実行委員会

施設のどこでもイベントができる備品や設備の管理組織

集^{つど}
う



事業内容

「誰でもアクション実行委員会」は、施設の設備や備品を施設全体で管理し、様々な場所で活動やイベントが実施できるようにする組織です。例えば、スタジオにあるピアノや練習室にある鏡などの持運びをできるようにし、施設内であればどこでも活動できるようにします。部屋ごとの物品の管理ではなく、活動に合わせて動かすことで、予約の集中する部屋をなくし、施設全体を使いやすくします。

シール貼り位置

集^{つど}
う

事業内容

新しい施設は文化芸術活動だけでなく、市のまちづくりの問題も解決することができます。「まちなかスタジオ設計室」は、空き家や空き店舗を練習室・スタジオに変えて使っていく取組です。市街地の中心部では、空き家や空き店舗が増えています。例えば、新しい施設で予約がとれなかったときの代わりに空き家・空き店舗を使うことで、まち全体での文化芸術活動と、まちづくりの問題解決ができる一石二鳥のアイデアです。

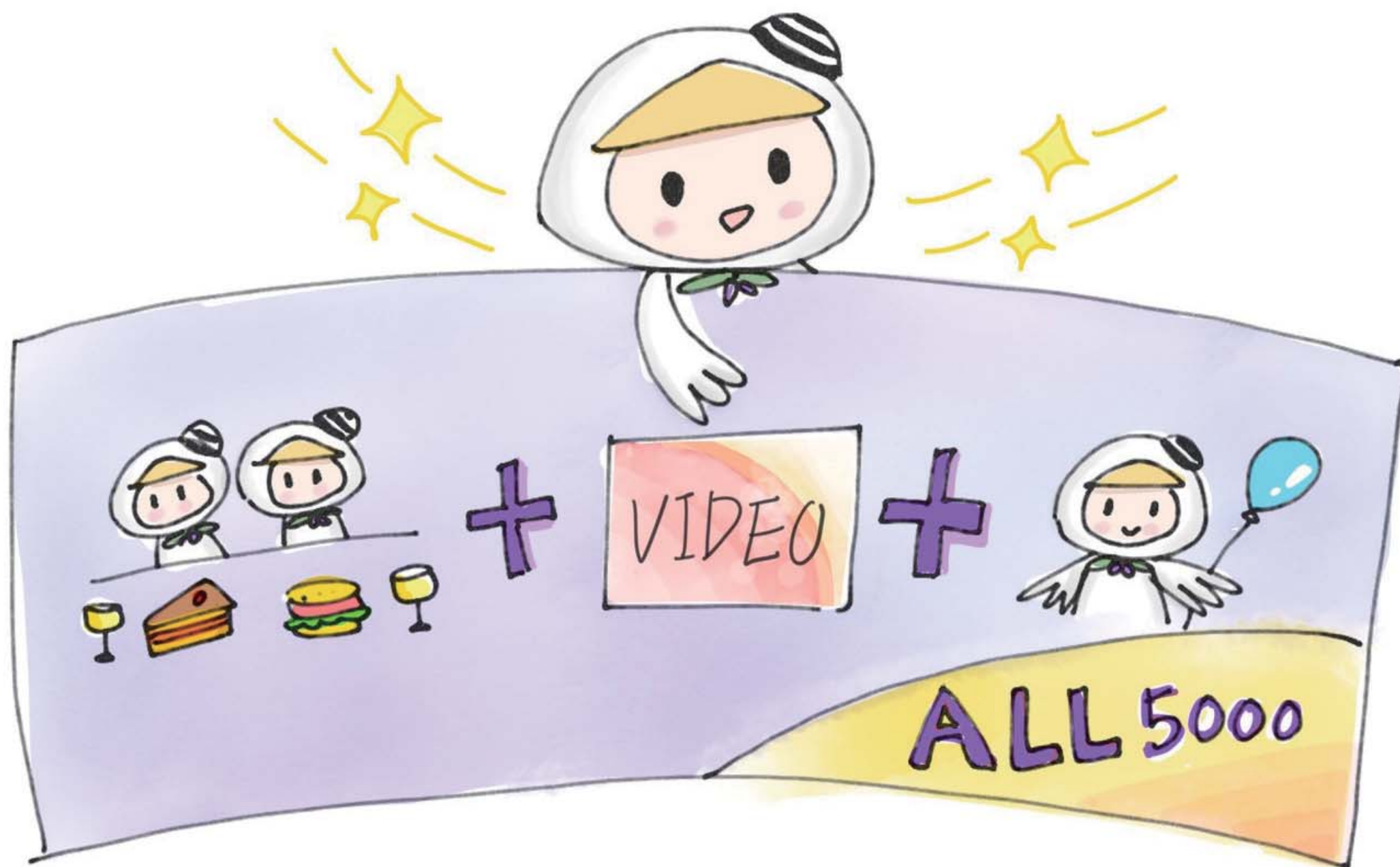
シール貼り位置

カルチャークーポン

CC-PON!

商業活動と文化芸術活動をセットで考える団体

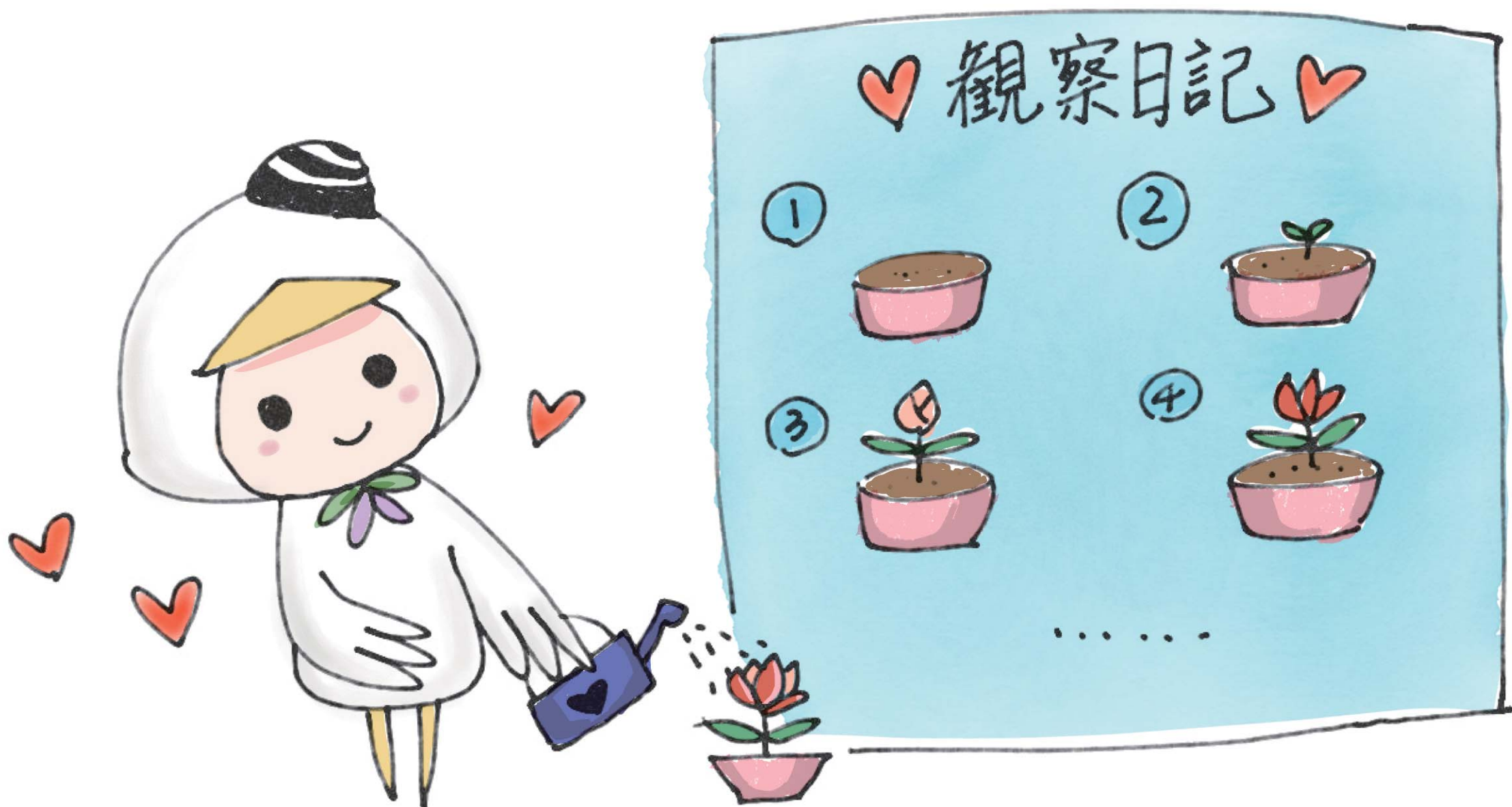
集^{つど}
う



事業内容

「CC-PON!(カルチャークーポン)」は、市内のお店と新しい施設の活動を組み合わせた企画を行う団体です。例えば、市内のレストランの割引と公演を組み合わせ、公演だけではなくランチやディナーもセットにした休日一日を楽しむプランをつくります。このアイデアは、施設の活動とともに市内の商業が活発になることも目指しており、文化芸術活動によるまちづくりを進めていきます。

シール貼り位置

集つど
う

事業内容

市民1人ひとりが、施設の木や草花を植え、世話をする企画です。苗から育てることで、1年の季節の変化を楽しむことができます。それらは、絵日記として、記録し、展示することもできます。「わたし」の育てている植物が新しい施設の展示となることで、人々が親しみを持って訪れる機会をつくります。

シール貼り位置

09 子どものわくわく社会見学

子どもの関心を生み施設のにぎわいを生むイベント

集う^{つど}



事業内容

子どもが楽しめる場所は、施設の活気を生み出します。また、子ども向けのイベントは人気が高いですが、市内には子どもと一緒に自由に遊べる施設は少ないのが現状です。そこで、新しい施設では子どもを対象とした職業体験イベントなどを行い、子どもや子連れの家族が訪れやすい施設を目指します。

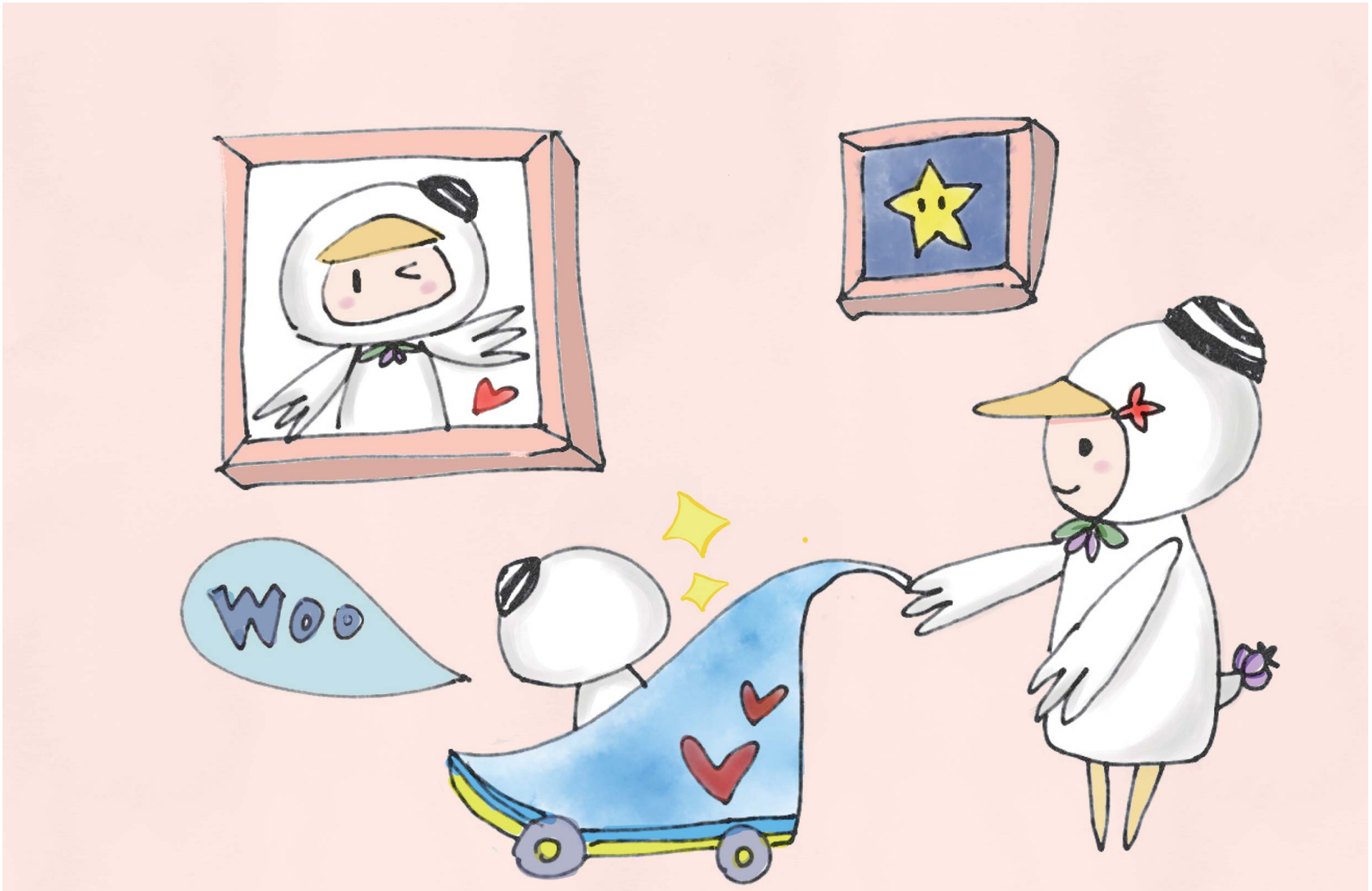
シール貼り位置

10

とぎ 子どもの止まり木

親子で楽しめる体験型の展示・鑑賞プログラム

つど
集う



事業内容

迷惑になることを心配して施設に来られない親子のために、仮設的な場所での展示、観賞を行うプログラムです。例えば、小さい子は添い寝や授乳などが自由にできる環境で音楽をきいたり、小学生はゲームの代わりに情報機器を使って展示作品を作ったりします。年齢に合わせた場所をつくることで、みんなで一緒に活動を楽しむことができます。

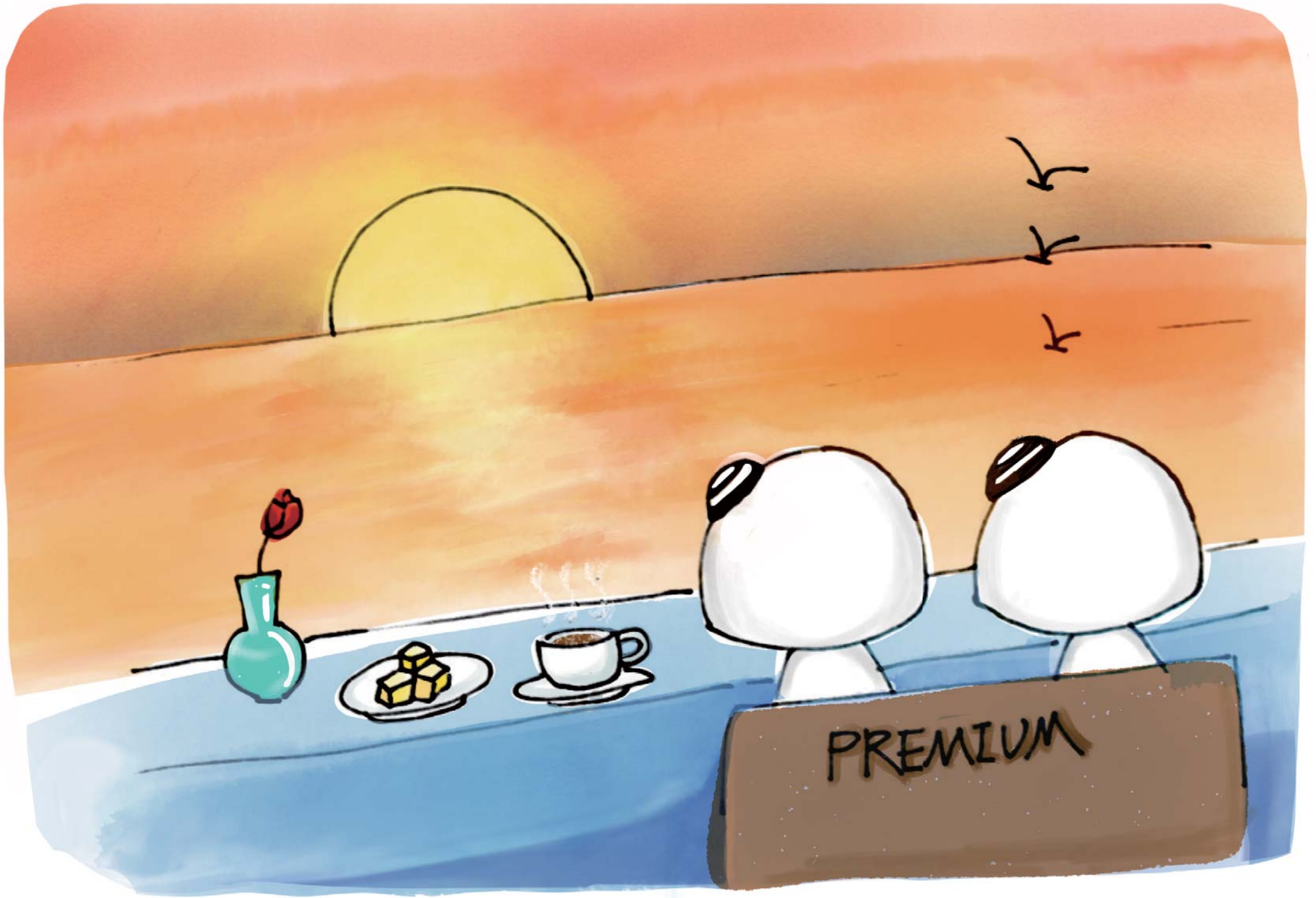
シール貼り位置

11

トワイライトカフェ・プレミアムシート

大人だけの特別なカフェ

集う^{つど}



事業内容

仕事や家事で忙しい人々にとって、静かに本を読んだり、コーヒーを飲んだりする時間はとても大切です。そこで、子どもたちが帰って夜の活動が始まる直前の夕方だけに現れる、静かにドリンクが飲める場所をつくります。気分を変えたい時、1人になりたい時などに訪れる特別な場所として、大人のより所となることを目指します。

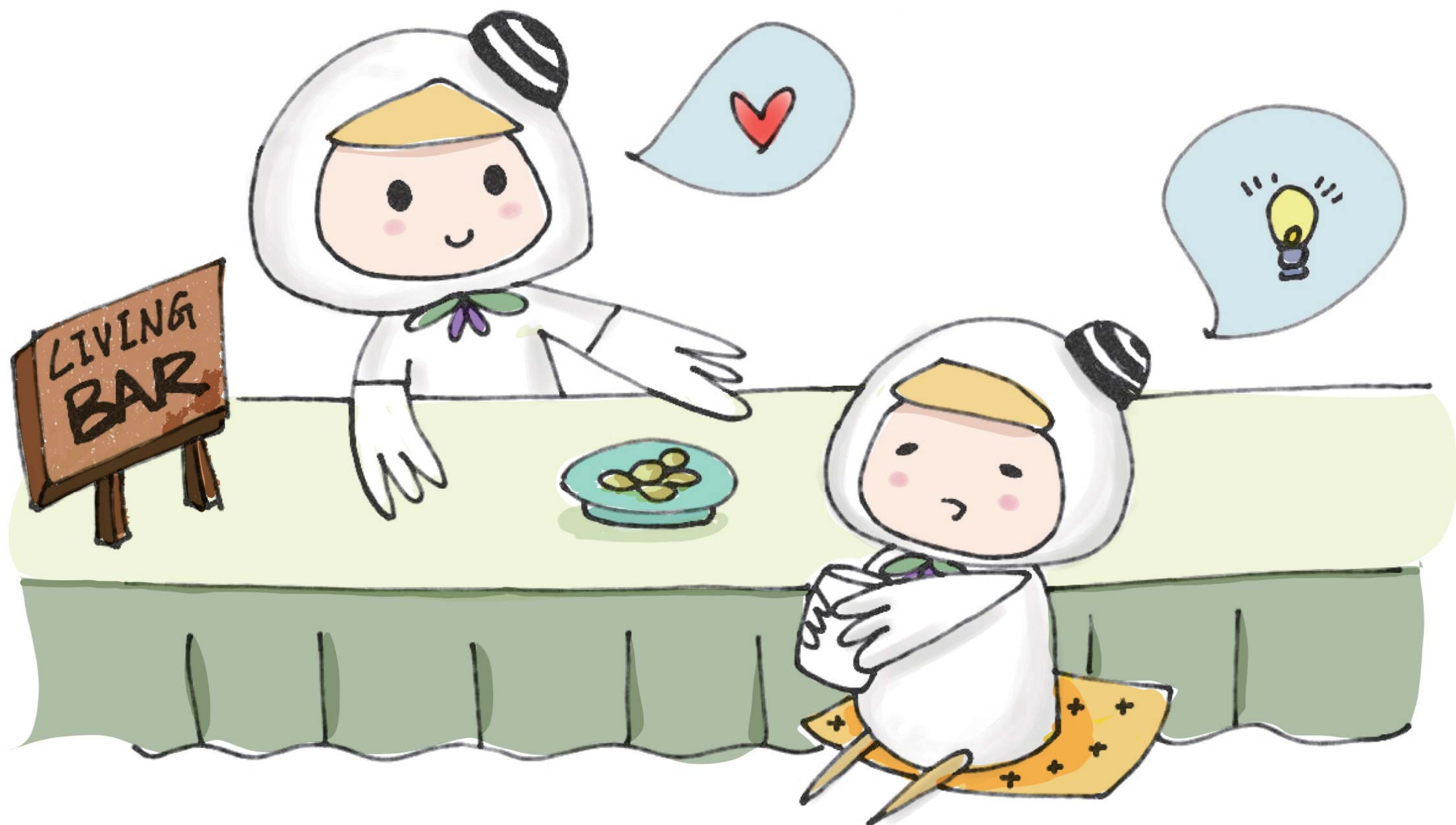
シール貼り位置

12

リビング バー Living Bar

いつでも迎え入れてくれるマスターのいる窓口

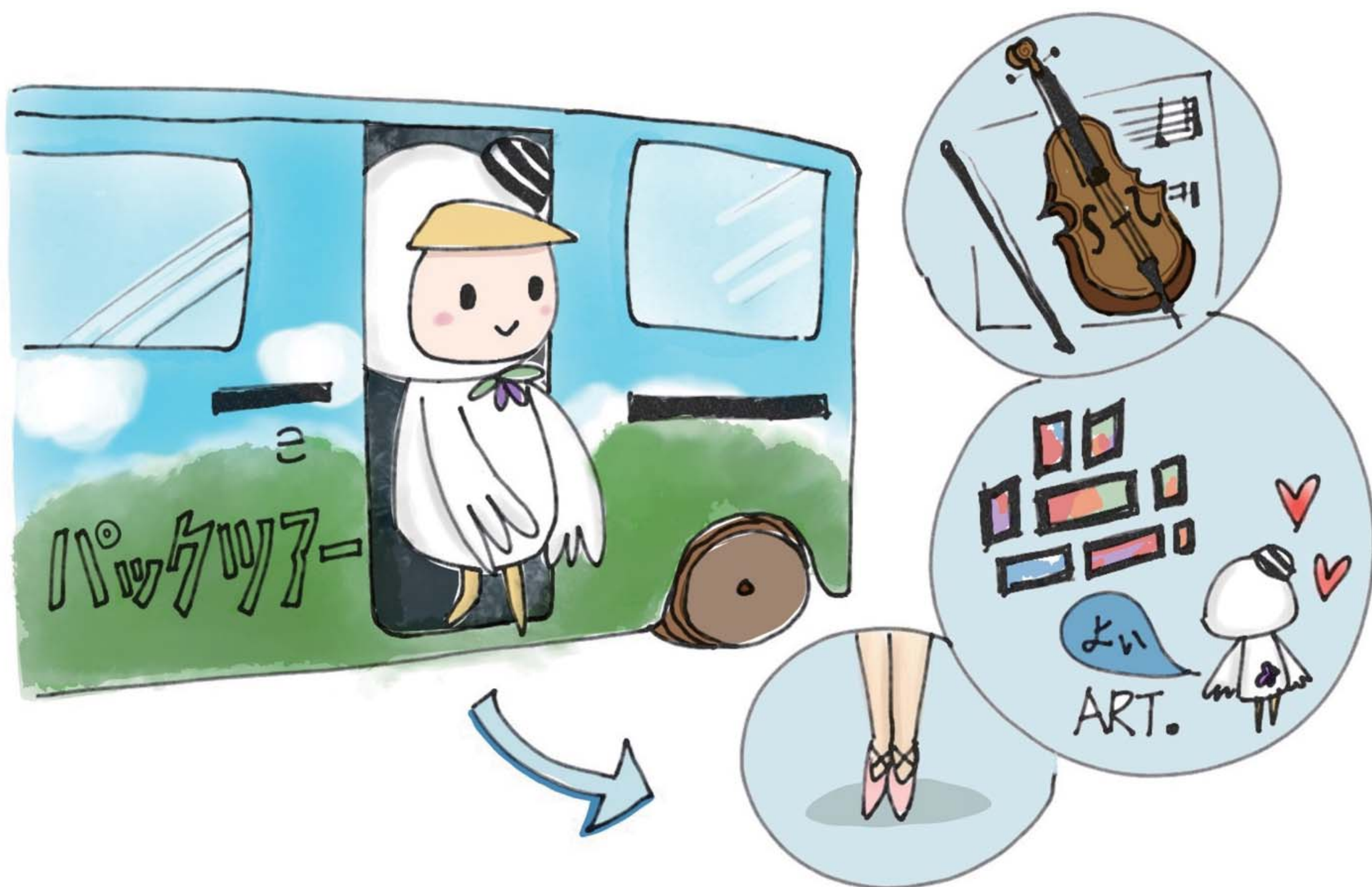
集う^{つど}



事業内容

いつでも話を聞いてくれる人がいると、用事がなくてもふらりと行きたくなります。「Living Bar」は行きつけのバーのようにマスターがいて、家のリビングのように落ち着いてゆっくり話のできる窓口です。専門のスタッフがいつもいることで、相談しやすい雰囲気をつくっていきます。

シール貼り位置

集う^{つど}

事業内容

「進め！カルチャーバスクラブ」は、旅行会社のパックツアーのように丸一日文化芸術を楽しむツアーイベントや、バスの乗車券と文化芸術のチケットをセットにしたプランを企画する団体です。乗車券とチケットがセットのイベントを行うことで、車を運転しない人でも、お得に文化芸術を楽しむことができます。

シール貼り位置

14

よやく トクトク予約

利用料金をだんだん安くしていく予約サービス

集^{つど}
う



日	月	火	水	木	金	土
	✓	✓	✓	✓	✓	✓
✓	✓	✓	✓	=	=	=
=	↓	↓	↓↓	OPEN	✓	✓
	✓	✓	✓	✓	=	=
=	=	↓	↓	↓↓	OPEN	

事業内容

施設の利用料金やチケット料金が高いことは、人々が施設に通いにくい原因の1つです。そこで、新しい施設では部屋や公演の予約料金を、当日が近づくにつれて、安くしていく仕組みを考えます。これは、利用者は当日まで予定の変更がしやすく、運営者も空いた席をもう一度売ることができるという、どちらもうれしい仕組みになっています。

シール貼り位置

集う^{つど}

事業内容

コミュニティセンターや自宅などで趣味や文化・芸術活動を行う市民はたくさんいます。そのような人々が新しい施設の共用空間に集まり、いつもはできない企画や演出を行うお祭りを開きます。例えば、クリスマスのイルミネーションを子どもたちが作り、その舞台上でコーラスサークルなどがクリスマスソングを歌います。年に1度、この時だけのコラボレーションは、来る人も作る人も楽しめる企画となります。

シール貼り位置

集つど
う

事業内容

市内には音楽サークルや趣味の活動グループがたくさんあります。このグループでは、学校や会社、年齢などの垣根を越えたつながりが生まれています。このような小さな市民活動を支えるのが「寄合いバル実行委員会」です。例えば、昔使っていた楽器を持ってきて、当時の部活の話や簡単な練習を行います。知合いが近くにいなくても、活動に関わるきっかけをつくります。また、活動のアドバイスなども行います。

注) バル：スペインの日常的な社交の場であり、喫茶店・軽食堂・居酒屋を兼ねたような店のこと

シール貼り位置

17

カルチャーフェスティバル

お祭りと一緒に、市の魅力を伝えるイベント

集う^{つど}



事業内容

新しい施設は芸術活動の場だけでなく、苦小牧の魅力を発信するなど、地域のための施設にしていくことが重要です。そこで、いつもの祭りと一緒に新しいイベントを一緒に行うことで、お祭りに訪れる観光客が苦小牧を好きになり、また地元市民が愛着を持つような施設づくりや活動を広げます。新しい施設がよりよいまちづくりを助けていくことを目指します。

シール貼り位置

紅白コミセン合戦

コミセンごとの団体が年に1度集まるイベント

集う^{つど}

事業内容

現在、市内にあるコミュニティセンターでは施設ごとにサークル・団体が活動を行っています。「紅白コミセン合戦」では新しい施設で年に1度、市内のコミュニティセンターのサークル・団体が集まるコンクールを行います。楽器演奏や舞踊といった活動を紅白対抗形式で見せ合うことはもちろん、施設だけの取組や珍しい活動を評価するコンクールを行うことで、活動の活発化を目指します。

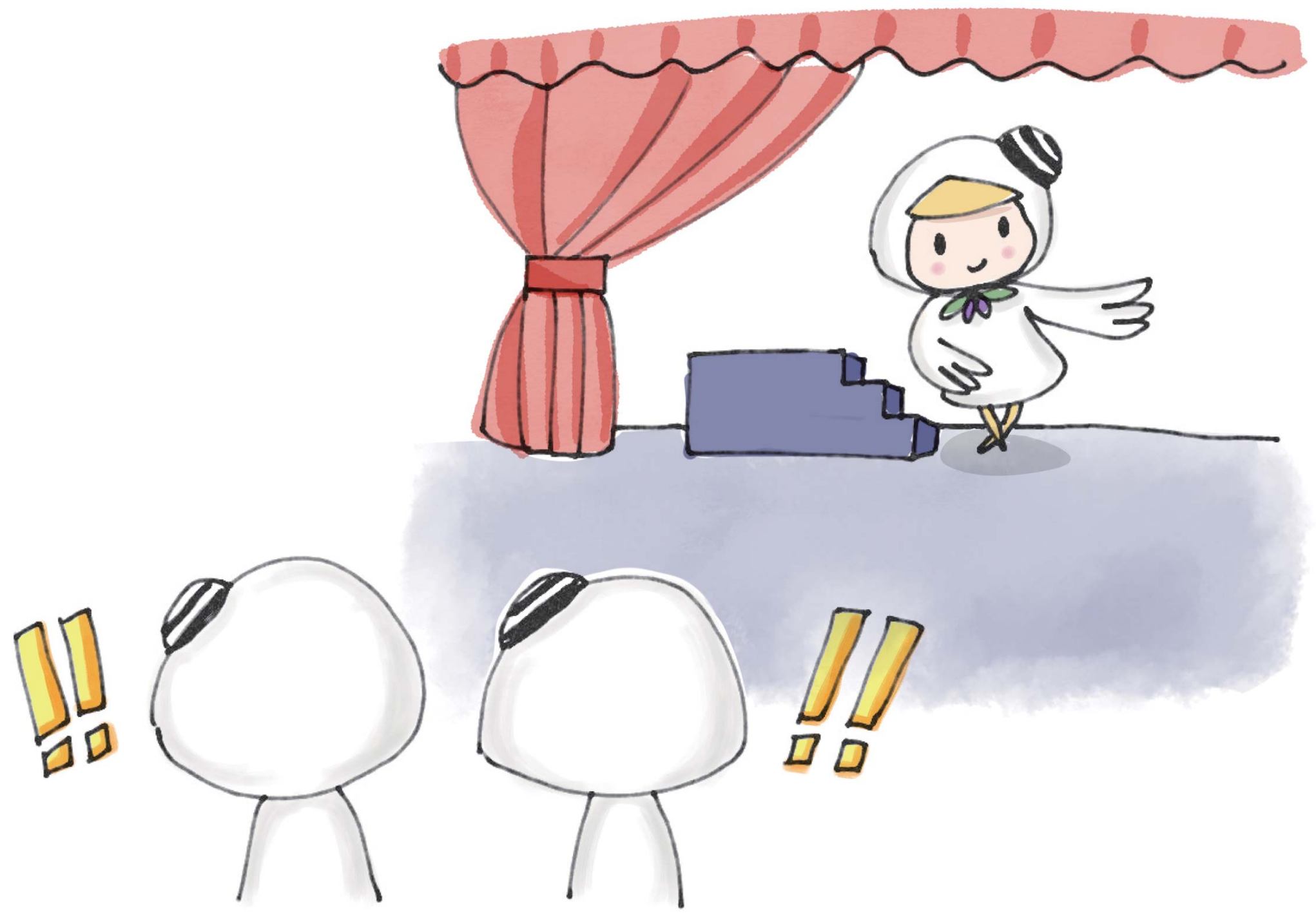
シール貼り位置

19

はこ びっくり箱プロジェクト

当日までプログラムがわからない1年に1度のビックイベント

集う^{つど}



事業内容

新しい施設は、これまで他の施設で行っていた様々なジャンルの文化芸術活動が1つの施設に集まっていることが特徴です。そこで、演奏会の日には知らせますが、当日までプログラム内容はわからないという独自のイベントを行います。イベントは、企画から実施まで市民が積極的に行っていくことを目指します。

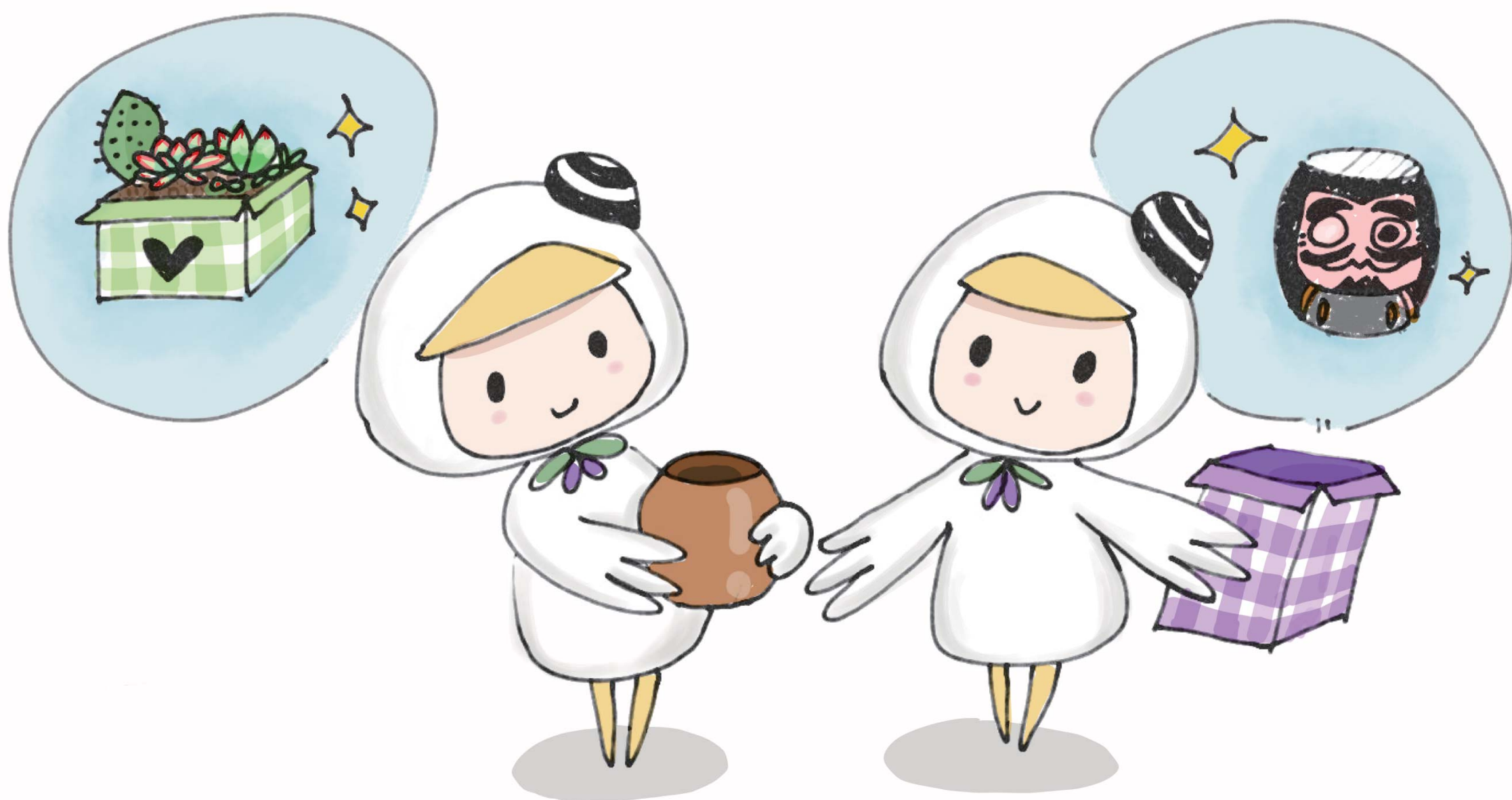
シール貼り位置

集う^{つど}

事業内容

「シアターdeアフターパーティー」は、公演後にお客さんと打上げをし、公演達成をみんなで喜ぶイベントです。普通、打上げは関係者だけで行われますが、このイベントでは関係者だけではなく、公演を見たお客さんも参加できます。関係者は公演の感想や反応をすぐに知ることができます。また、お客さんが公演の関係者と交流することで、活動が広がっていきます。

シール貼り位置

集^{つど}
う

事業内容

「もったいないプロジェクト」は、文化芸術を通していらない物を欲しい人に使ってもらおう活動です。例えば、畳縁の切れ端を人形創作者の市民が受け取り、人形の飾りとしたり、市民から集めた不用品でアーティストが舞台をつくったりします。この活動は、不用になった物を施設に持っていくついでに文化芸術に触れる機会をつくります。また、活動に必要なものを集めるときに、コミュニケーションが生まれ、まさに一石二鳥のアイデアです。

シール貼り位置

集^{つど}
う



事業内容

展示品を屋外に積極的に置いていく企画です。例えば、月の観察会とそれにちなんだ作品を制作・展示するイベントや、ニューイヤーコンサートと雪でつくったキャンドルの飾りつけといった、ものづくりと文化講座がつながる展示を行います。また、制作スタジオの一部を屋外スタジオとして使い、日曜大工や子どもたちの遊び場作製などで使います。いつ来ても季節が感じられる、地域の魅力を伝える企画です。

シール貼り位置

01

とまこまい

あじ

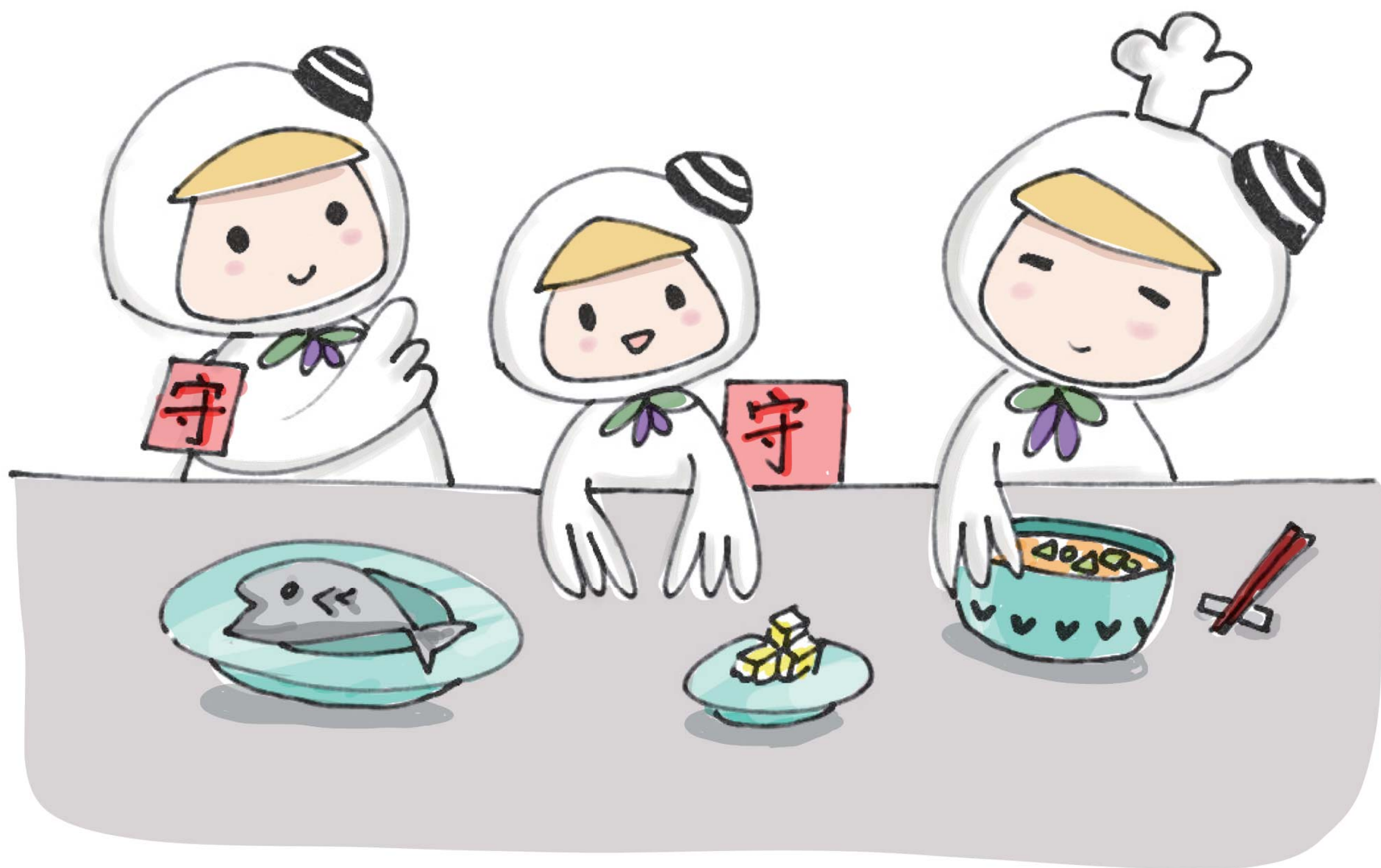
まも

かい

苫小牧の味を守る会

地域のソウルフードを楽しみながら伝える市民団体

知る



事業内容

おじいさんやおばあさんから教えられた郷土料理や地元の人に愛される定食屋の料理、地域の名物B級グルメといったソウルフードも伝えるべき文化の1つといえます。「苫小牧の味を守る会」は、苫小牧に伝わるソウルフードを市民みんなで調理し、楽しみながら伝えていく市民団体です。活動は料理の取材から始まり、料理教室型の小さなイベントから大きなフェスティバルまで、様々な規模で開催していきます。

シール貼り位置

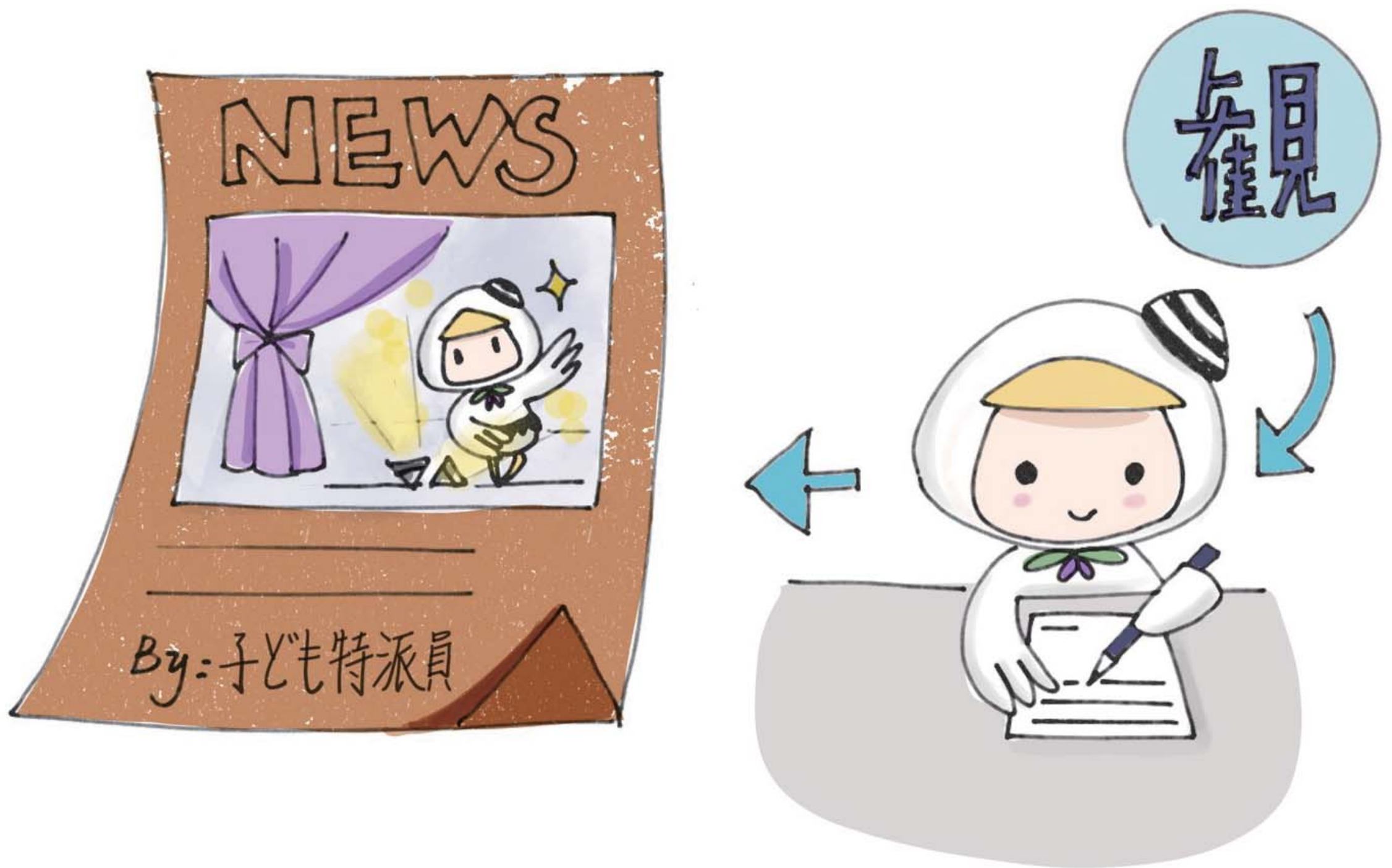
知^し
る

事業内容

新しい施設では、バンド・オーケストラ・バレエ・ヒップホップダンスなど多数のジャンルが1つの施設を利用することを生かしたイベントが行えるようになります。そこで、映画館にあるカップルデーやモーニングショーのように、ダンスマンデー、日曜クラシックなど、複合施設だからこそできるテーマを持たせた催しや割引料金サービスを行います。また、テーマとなったジャンルの利用団体に対しては諸室予約の優先などを行うことで、全てのジャンルの団体が施設を利用することができます。

シール貼り位置

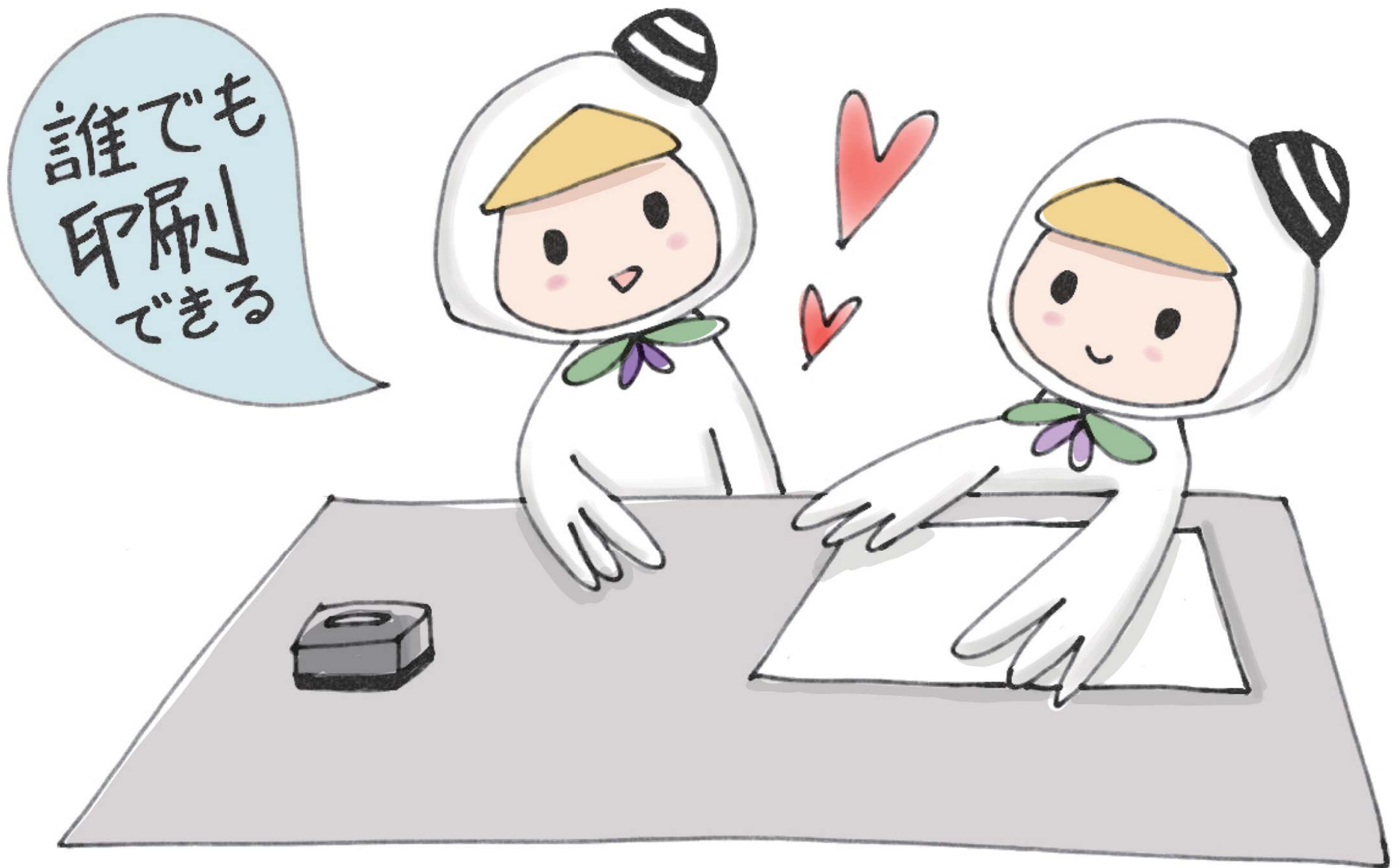
知^し
 る



事業内容

新たな施設では、いつも新しい情報を届けることを目指します。そのときに、人と人をつなげる仕組みを考えます。例えば、子どもたちが舞台の制作・稽古について取材し、実際にその舞台を鑑賞します。それらを記事にすることで、記者となった子どもたちや取材をされた役者、また情報を見る市民にとって、その舞台がより身近になり、関心が高まっていきます。

シール貼り位置

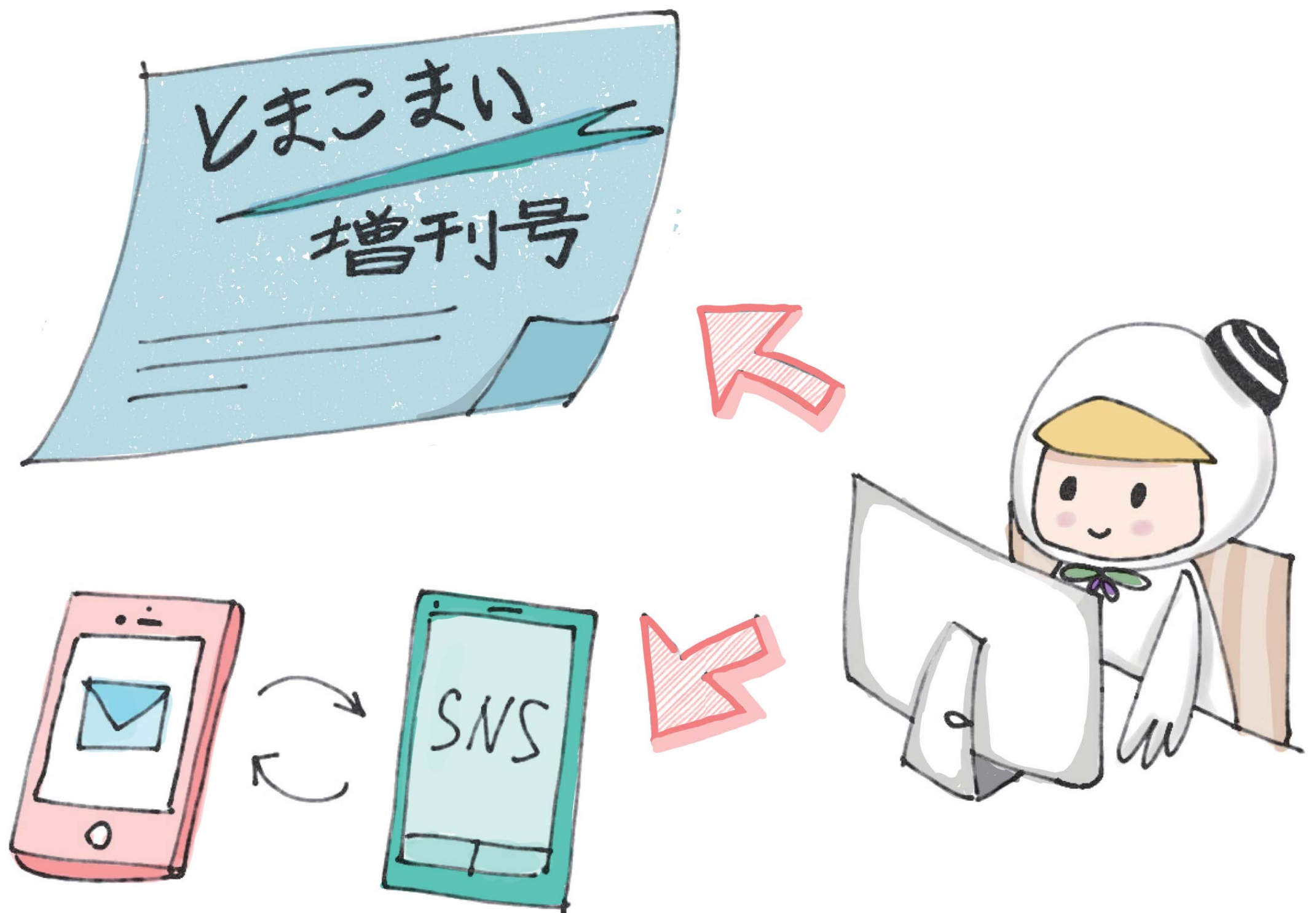
知^し
る

事業内容

「誰でも印刷工房」は、広告を作りたくてもその方法が分からない市民に、広告のデザインや印刷の技術を教える企画です。参加者は、広告を作る際に何度も施設を訪れるため、新たな情報交換が生まれます。また、できた広告はメインの掲示板に貼ることができるなど、市民が情報を伝えやすい仕組みをつくっていきます。

シール貼り位置

知る



事業内容

広報とまこまいは市民の情報源ですが、ページ数が限られているため詳しい内容を書き載せることが難しいこともあります。新たな施設では、市民が文化・芸術活動、地域活動の内容を書き載せた広報の増刊号をつくりまします。例えば、イベントを行うサークルへの取材や、公演を行う団体の練習風景の紹介など、市民が気になる内容を書き載せていきます。また、SNS等のメディアを使って最新情報を発信します。いつもの情報誌とは違ふ、市民が取材する増刊号の面白さと、全戸に配布される広報誌の宣伝力をあわせた編集部です。

シール貼り位置

知^し
る

事業内容

「とまチョップ・アート&カルチャーポイント」は、現在市で行われているとまチョップポイントと連携したサービスです。とまチョップポイントは、市が行う事業・イベントへの参加や公共施設の利用でポイントがもらえるサービスです。新たな施設でも、コンサートや公演を観たときや、イベントに参加したときにポイントが貯まるようにします。さらに、施設に訪れたことをSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)に投稿するとポイントがもらえるなど、施設に来るきっかけとなるサービスもつくっていきます。

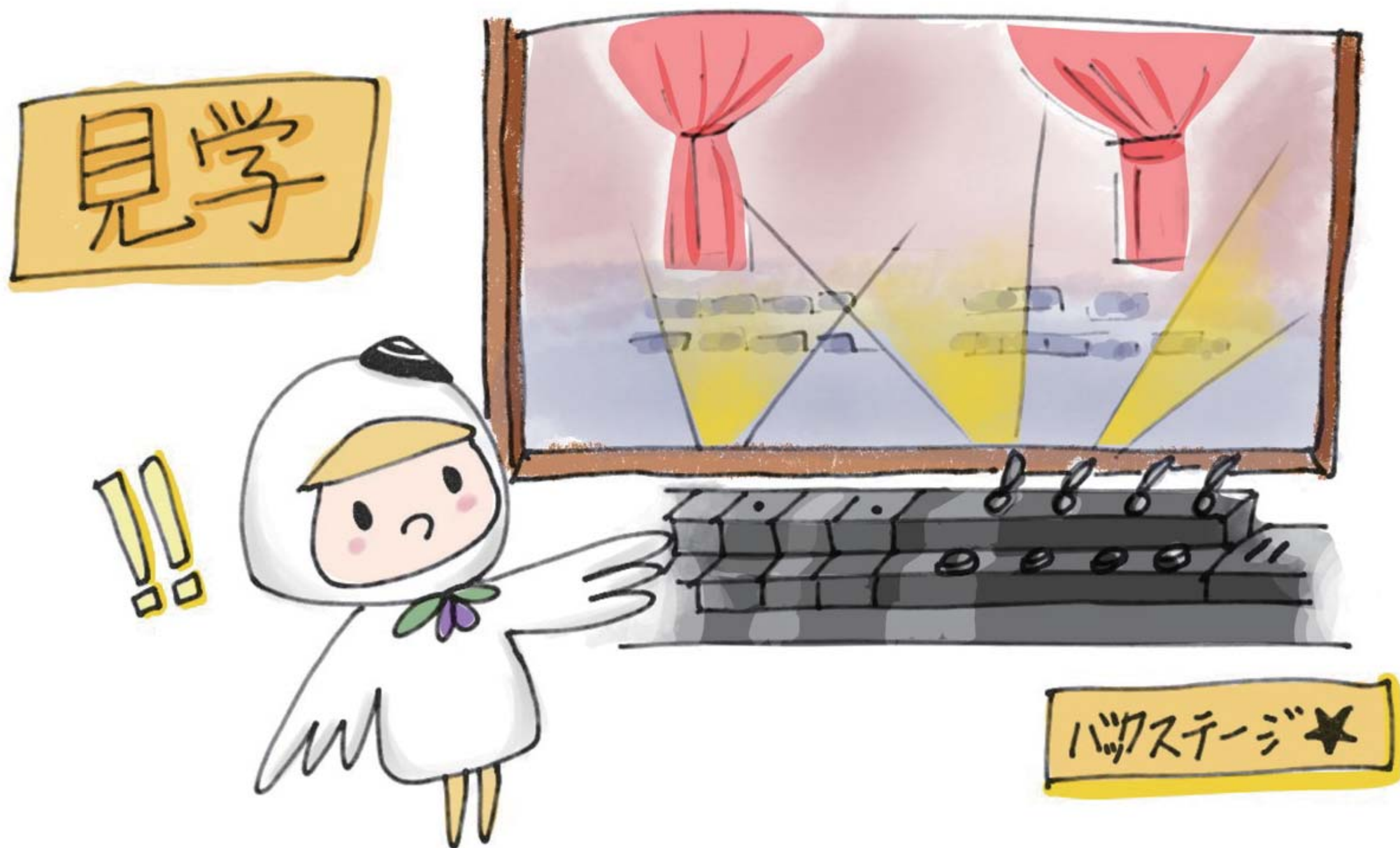
シール貼り位置

07

とくべつこうかい うらかた せかい
特別公開！裏方の世界

本物の技術を体験できる舞台裏見学会

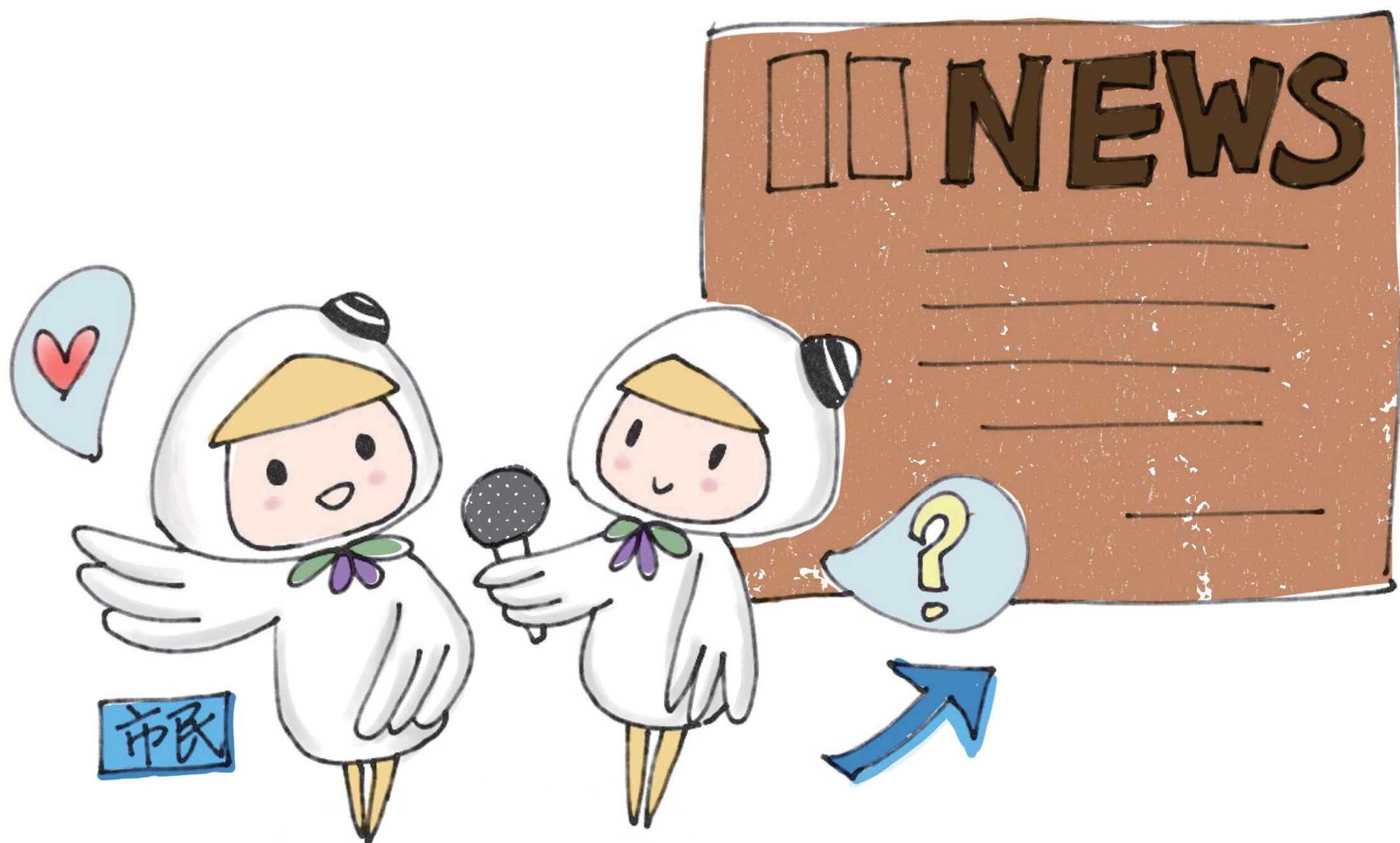
知^し
る



事業内容

いつもは見ることのできない舞台裏を見学し、舞台の裏で働いている人の仕事を体験する「特別公開！裏方の世界」は、イベントだけではなく、舞台そのものへの関心も生む効果があります。舞台裏見学会を体験すると、舞台装置が実際に使われている様子を公演の場で見たいと思うようになり、公演を支えるサポーターとしての楽しみややりがいが増えます。子どもだけでなく、大人も楽しめる体験型ツアーは人気企画として続いていくことが期待されます。

シール貼り位置

知^し
る

事業内容

このイベントでは、地域の気になる話題について関係者に取材をし、資料を集めながら壁新聞をつくります。「自分のまち」という身近なテーマであることから、イベントには小学生からお年寄りまでたくさんの方が参加することができます。壁新聞は、市民による手づくりのかわら版として施設に貼り出されます。その後、その内容から物語を作成し、演劇をするなど、市民の関心事をあらゆる活動へとつなげていきます。市民が施設をいきいきと活用する利用者になってもらうことを目標にしています。

シール貼り位置

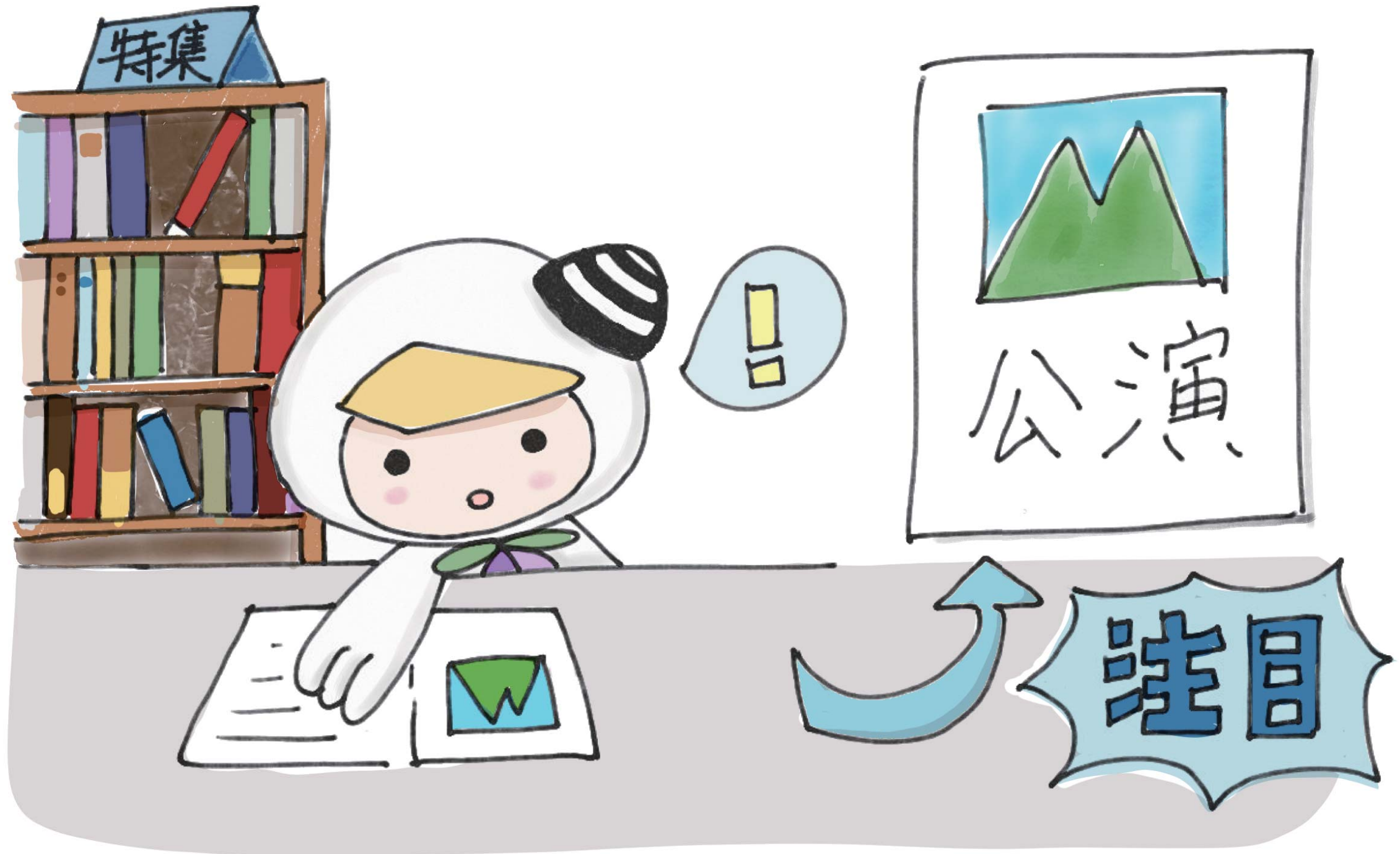
知^し
る

事業内容

「サイン考案部」は、プロやアーティストと一緒に市民の手でサインやサイネージ(電子看板)を作成し、ついで利用が生まれやすい環境づくりを行う組織です。ふと目に止まるサインやサイネージがあることで、普段気づかなかった活動を知るきっかけになります。サインやサイネージ自体も1つの表現活動であり、それ自体が文化芸術活動となるような情報発信を担う組織となります。

シール貼り位置

知る



事業内容

様々な機能を持っている施設に図書室があることで、公演や展覧会といった特別な目的がなくとも、人々が施設へ来る機会をつくることができます。また、ホールでの公演や展示などに合わせて、その内容に関する本を置くことや、イベントの特集コーナーをつくることもできます。さらに、図書室がライブ会場となり、本に関する演劇や生演奏が行われるなど、本からつながる企画を生み出す場にもなります。

シール貼り位置

01

うでき

ぶたい

腕利きサポート部隊

アーティストと市民と一緒に作業する市民ボランティアの集団

かか
関わる



事業内容

市民ボランティア集団「腕利きサポート部隊」は、市民がやってみたいと思ったことをプロ・アーティストに教えてもらいながら行う市民参加型アートプロジェクトです。市民はボランティアとして「腕利きサポート部隊」に登録することで参加することができます。例えば、デザイナーが市民のチラシやポスター作成を手伝ったり、家具職人と一緒に椅子をつくるなど、様々な活動が考えられます。それぞれの得意技を生かしながら、専門家と市民で一緒に行うプロジェクトとなります。

シール貼り位置

かか
関わる

事業内容

「手作り食堂in市民プラザ」は、日替わりで食堂を運営していく取組です。日替わりでご飯をつくる人が代わっていく仕組みにすることで、活動に参加しやすくなります。例えば、地域のお母さんたちが食堂のスタッフとなり、放課後の小学生が手伝います。この取組では、レストランやカフェから、市民のコミュニケーションをつくることを目指します。

シール貼り位置

かか
関
わ
る

事業内容

「チャレンジショップin市民プラザ」は、お店を開きたい人やアンテナショップをつくりたい人のために、店を出す場所を期間限定で安く貸す取組です。前の月はパン屋、今月はカレー屋といった風に、毎月お店とその内容が変わっていきます。店を出したい人は、期間限定だからこそ、新たにチャレンジしやすくなります。また、店に行く人も飽きることなく楽しむことができる試みです。

シール貼り位置

共にアクション実行委員会

施設と市民と一緒に要望・意見を実現していく取組

04

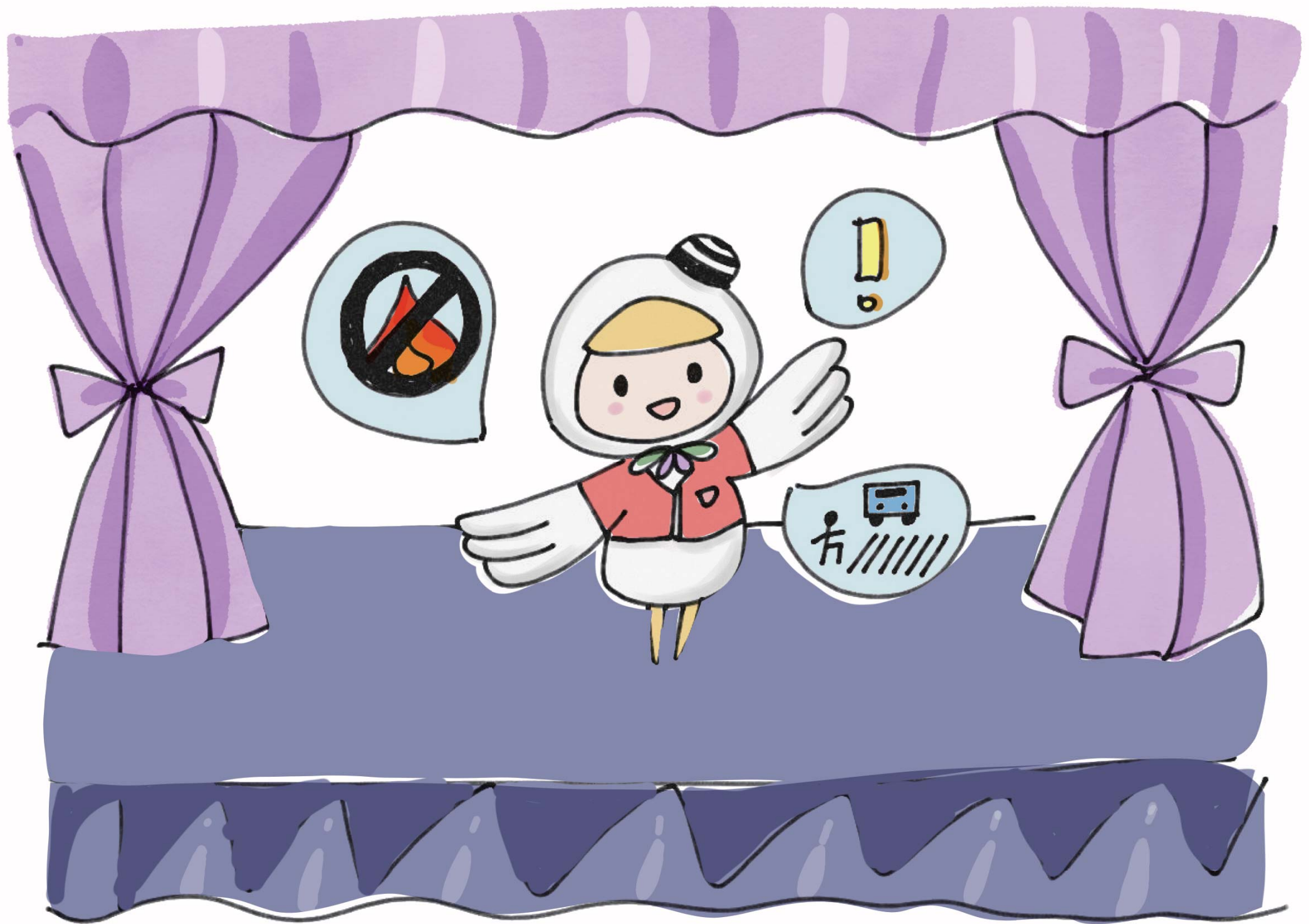
かか
関
わ
る



事業内容

「共にアクション実行委員会」は、施設についての要望・意見を集める市民参加型の会議を行い、そこで出された要望・意見を、市民と一緒に実現させていく取組です。施設運営者と市民と一緒に話し合いながら、要望・意見を実現させるための方法や解決策を考えていくことで、市民が中心になった施設づくりを目指します。

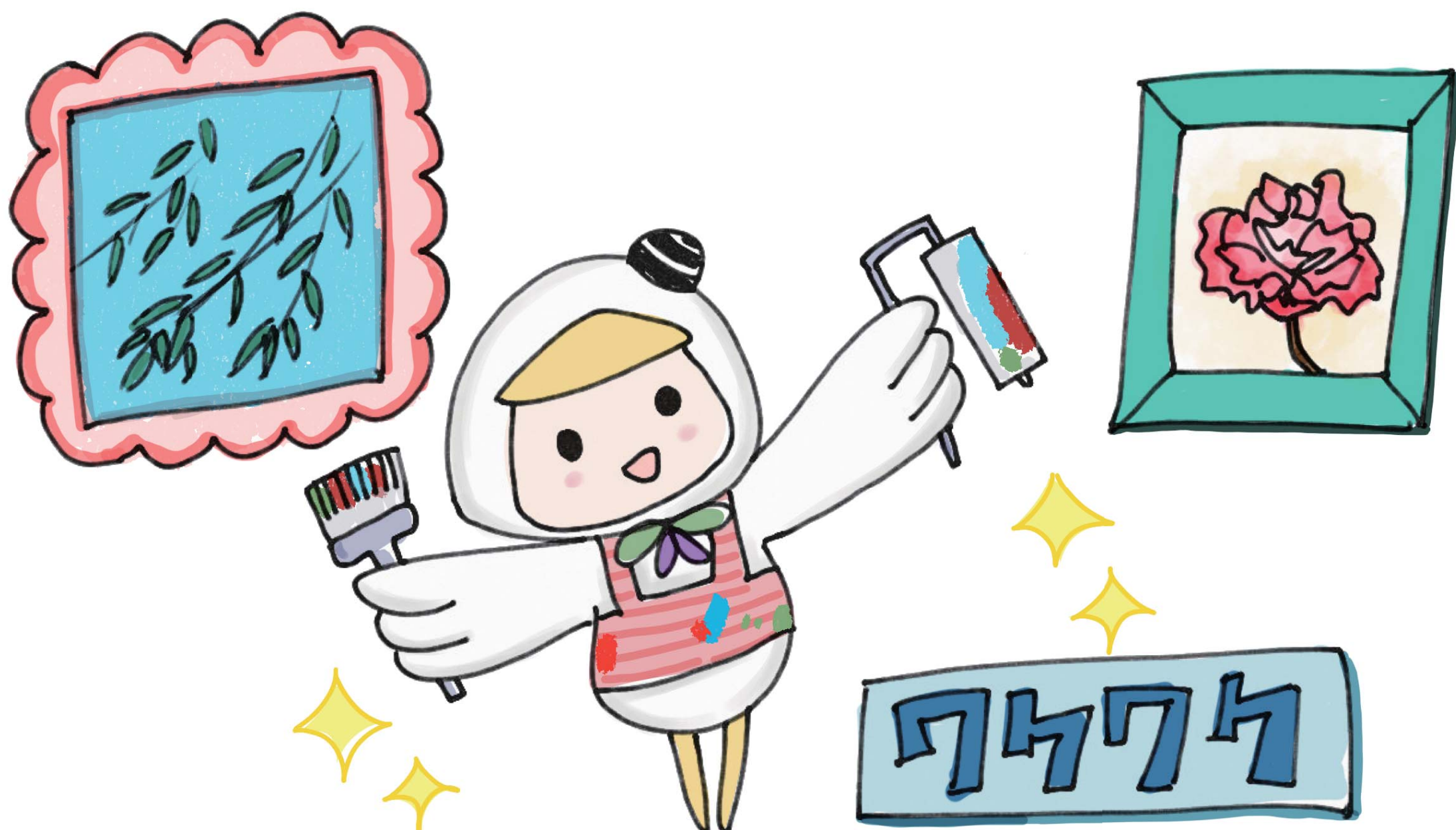
シール貼り位置

かか
関わる

事業内容

施設を使う文化芸術団体にコンサートや公演の前に交通安全運動をしてもらい、人々に知らせていく活動です。交通安全運動を行った団体には、利用割引や施設で使えるクーポンをプレゼントします。これらの活動は、今まで交通安全センターや警察、町内会が行ってきました。しかし、それを市民が行うことで聞いている人も、話す人も印象に残り効果的に伝えることができます。

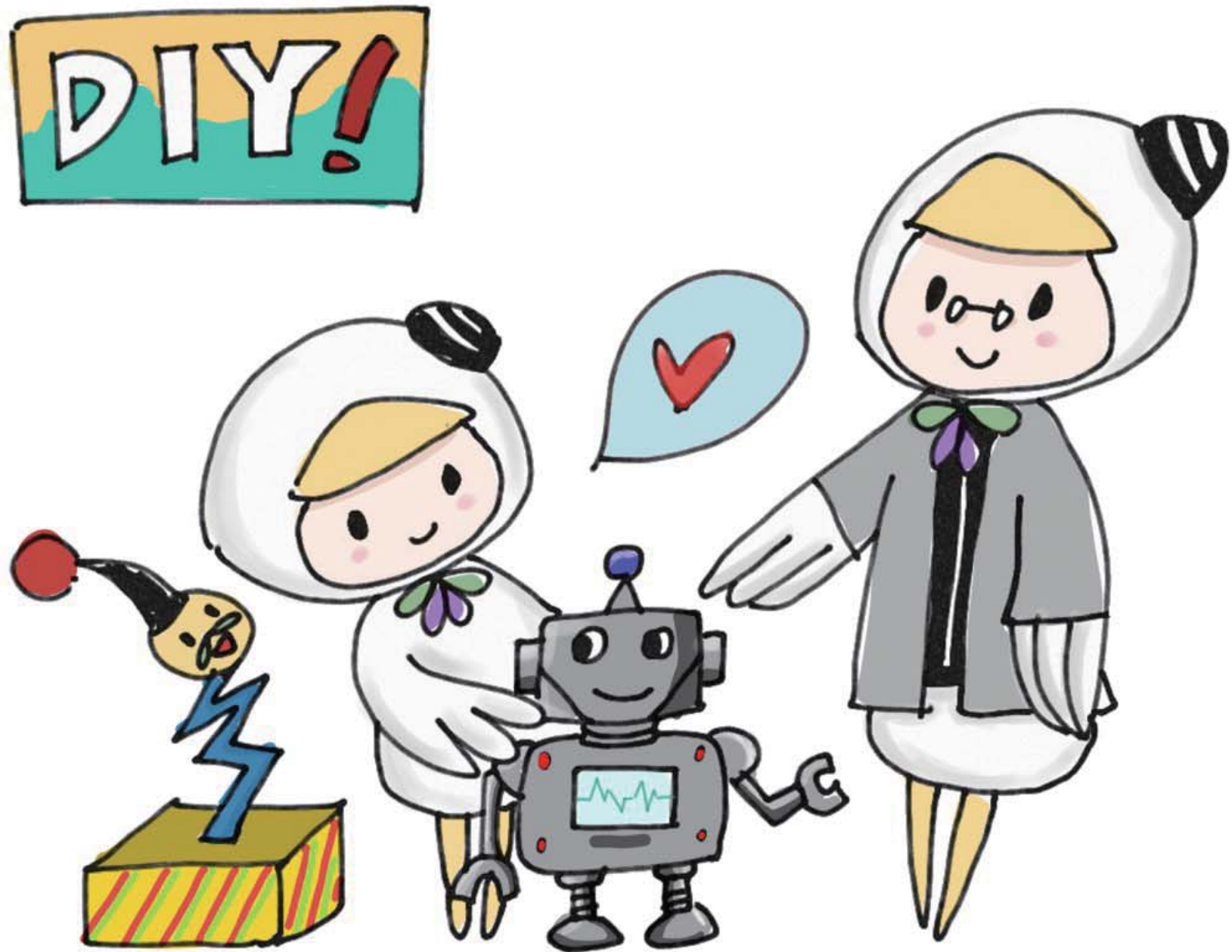
シール貼り位置

かか
関わる

事業内容

「ワクワク展示室」は、市民の作品を展示する場所を、市民が考え、市民がつくりあげていくプロジェクトです。展示空間を自分たちでつくることによって、子どもたちが絵を画びょうで貼り付けるなど、自由な表現ができるようになります。また、ほかの活動やイベントにあわせて、人が集まる場所に展示空間をつくるなど、様々な場所に展示できるようにします。そうすることで、たくさんの人にみてもらえる機会をつくることができます。

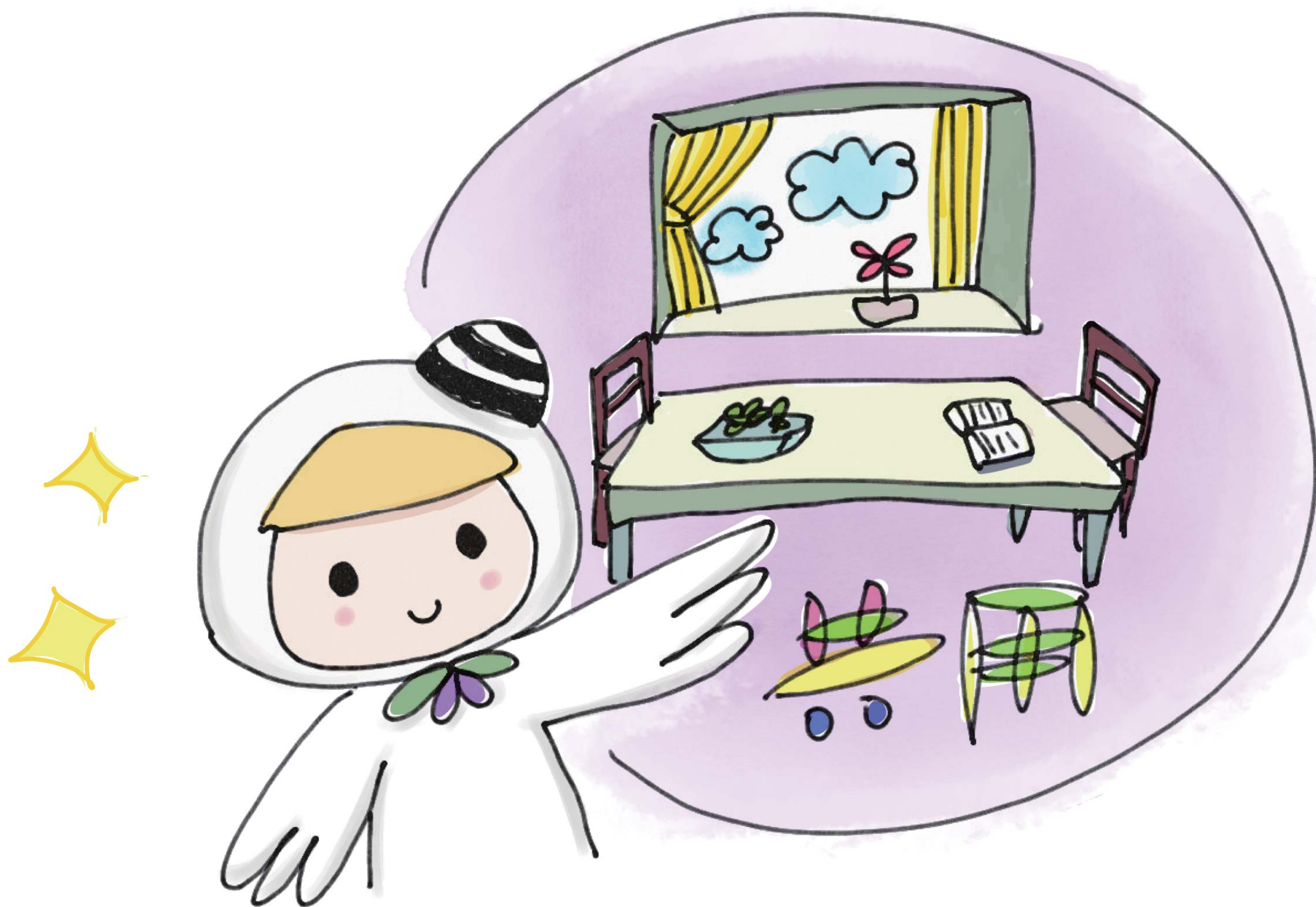
シール貼り位置

関かわかる

事業内容

「DIY応援部」は、最新の工作機器の使い方をスタッフが市民に教えることで、市民のものづくりをサポートする組織です。また、「DIY応援部」も積極的にイベントを開催することで、市民のものづくりの機会を増やしていきます。この取組では、ものづくりを通して、世代間交流や市民同士のコミュニケーションの機会をつくることを目指します。

シール貼り位置

かか
関
わる

事業内容

共用空間は、たくさんの方が訪れ、過ごすことのできるスペースです。しかし、そのために使い方のルールや禁止事項が多くなることがあります。そこで、市民でつくる団体が共用空間のディレクターとして企画をつくり、運営をすることで、自由な発想で市民がいきいきと過ごすことのできる雰囲気をつくりまします。行政は、その企画を後押しする役割として、禁止するのではなく、どのようにすればできるのかを考えます。

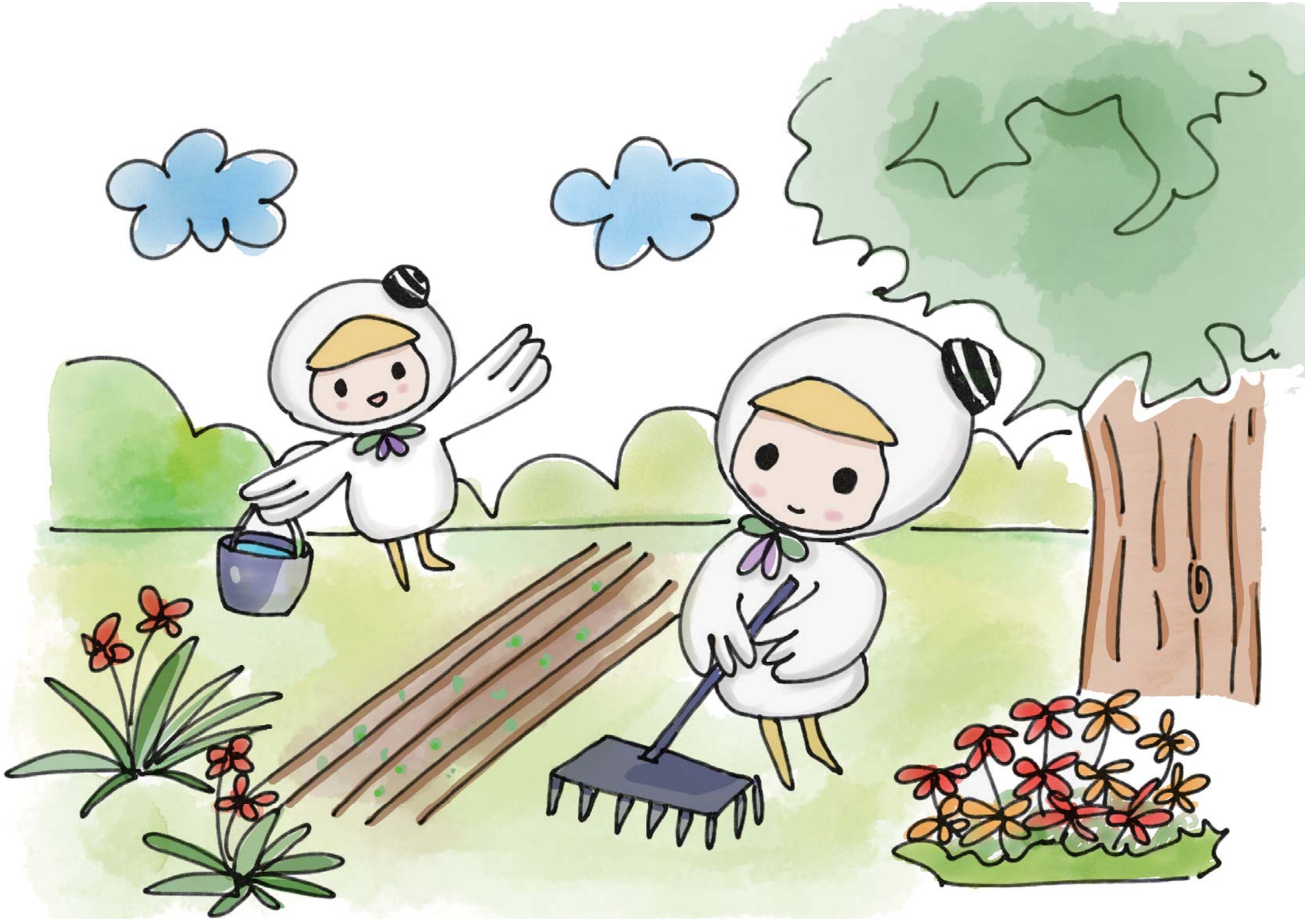
シール貼り位置

かか
関わる

事業内容

「魅せる事務室」は、閉じてしまいがちな事務室を見せていくことで、市民からの敷居をなくし、施設の仕事への親しみと信頼を得られるようにします。新たな施設では、スタッフと市民が声をかけ合い、市民が安心して過ごせるような関係をつくることを目指します。また、スタッフ相互の関係も自然に協働できるきっかけになります。

シール貼り位置

かか
関わる

事業内容

「芝生ファンクラブ」は、外のスペースを管理し、そこでのイベントを企画する市民団体です。施設の内部だけではなく外部空間の管理や運営も市民が行うことで自由な発想ができるようになります。また、市民がやるからこそ、市民にとって親しみやすい場所をつくることができます。

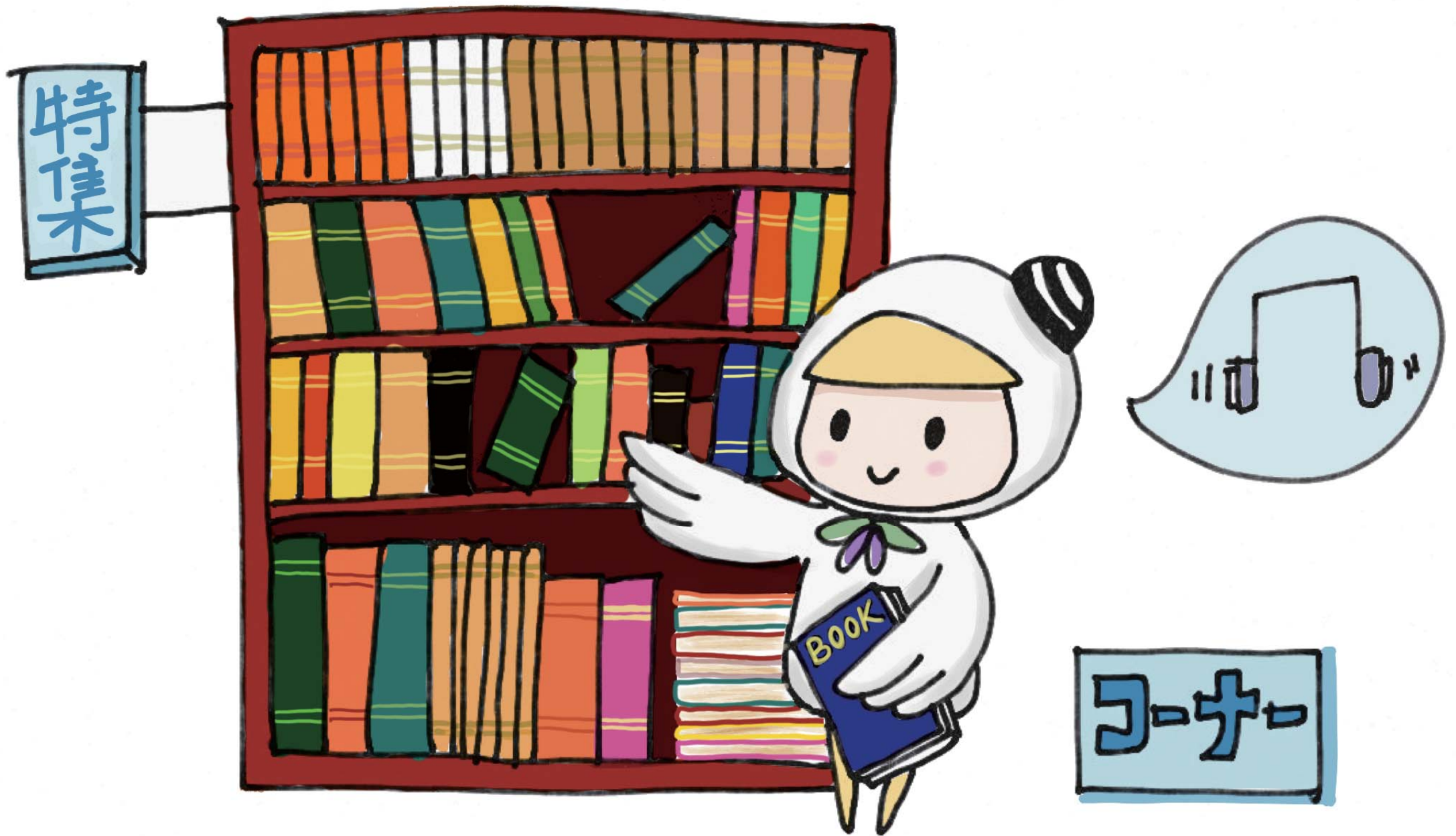
シール貼り位置

関かわかる

事業内容

ひとりで本を読みたいとき、公演を鑑賞した後にその感想をワイワイ話したいとき、子どもを遊ばせながらちょっと休みたいとき、放課後に友達と勉強したいとき・・・新しい施設では、そんなときに来ることのできるカフェスペースを用意します。また、カフェ運営者が本や料理を紹介するイベントを企画し、施設のオープンを記念した特別メニューを提供するなど、ただの施設内にある喫茶店・飲食店ではない、そのカフェだけの活動も行っていきます。

シール貼り位置

関かわかる

事業内容

新しい施設では、市民が施設へ訪れたときにいつでも新しい情報を得ることができる場所を目指します。「週刊おすすめりレー」は、市民が他の市民に届けたい情報を週替わりで発信していく情報発信サービスです。例えば、ヒップホップが好きなDJがダンスに合う音楽を紹介し、読書が好きな市民がクラシック音楽を学べる本の紹介を行います。

シール貼り位置

関^かわ^かる



事業内容

「ボランティアコーディネーター協会」は、ボランティアに協力してもらいたい運営者と、ボランティアをしたいする市民を、引き合わせる組織です。組織がボランティア活動を助けることで、運営者は仕事だけに集中できるためサービスを向上できます。また、市民は自身の能力の向上や、文化芸術活動への活躍ができます。

シール貼り位置

おとな

大人のいきいきカレッジ

社会や生活の知恵を伝える機会の提供

01

つなぐ



事業内容

「大人のいきいきカレッジ」は、人々が、人生の大先輩であるお年寄りとの世代間交流を目的とした学びを楽しむためのイベントです。そこで、現在市内の長生大学で活躍するお年寄りを講師になってもらい、セミナーや勉強会を行います。普段は会うことが少ない世代とのコミュニケーションの場をつくり、新しい企画や活動を行っていきます。

シール貼り位置

02

みなら おやし
見習い親父バンドプロジェクト
楽器初心者をサポートし、働き世代のサードプレイスをつくる取組

つなぐ

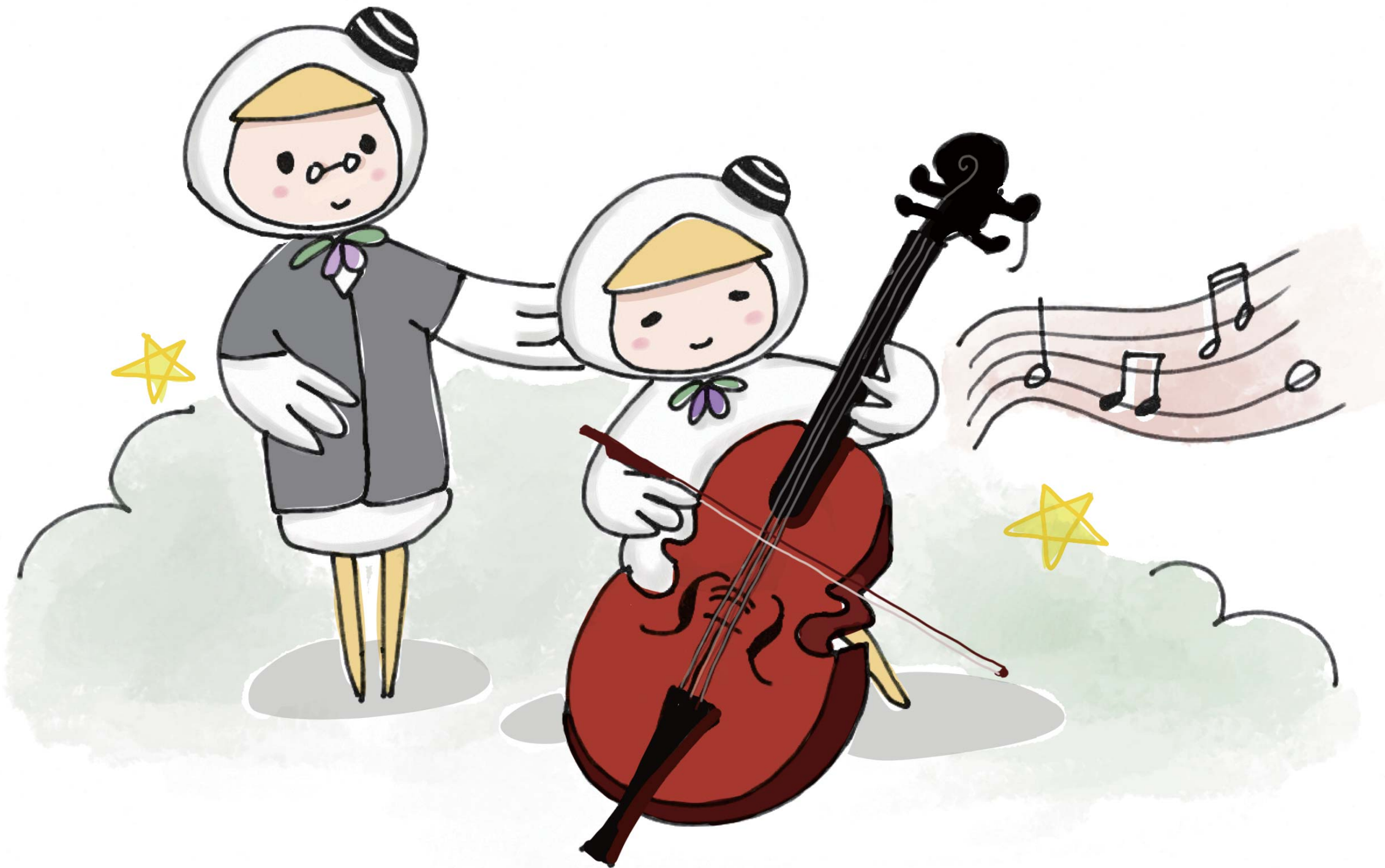


事業内容

「見習い親父バンドプロジェクト」は、大人が楽器の弾き方から習い始めるプロジェクトです。講師は地元出身の若手ミュージシャンが行い、年に何度か発表をします。いつもは仕事をしているお父さんがバンド演奏でカッコいい姿を娘に見せ、それを若い講師が見守るといったように、世代間コミュニケーションと働き世代のサードプレイス（仕事や家庭以外の居場所）をつくることを目標にします。

シール貼り位置

つなぐ



事業内容

「お手軽文化講座」は、市民が市民に対して講座を開くプログラムです。これまでアマチュアのプレイヤーとして活躍してきたお年寄りの演奏者が市内の小・中学生に楽器演奏を教えるなど、いつもは会うことのない世代のコミュニケーションが期待できます。また、資格がなくても、長年趣味として続けてきた活動を次世代に伝えるレッスンは、教える方、習う方のどちらも気軽に参加ができます。

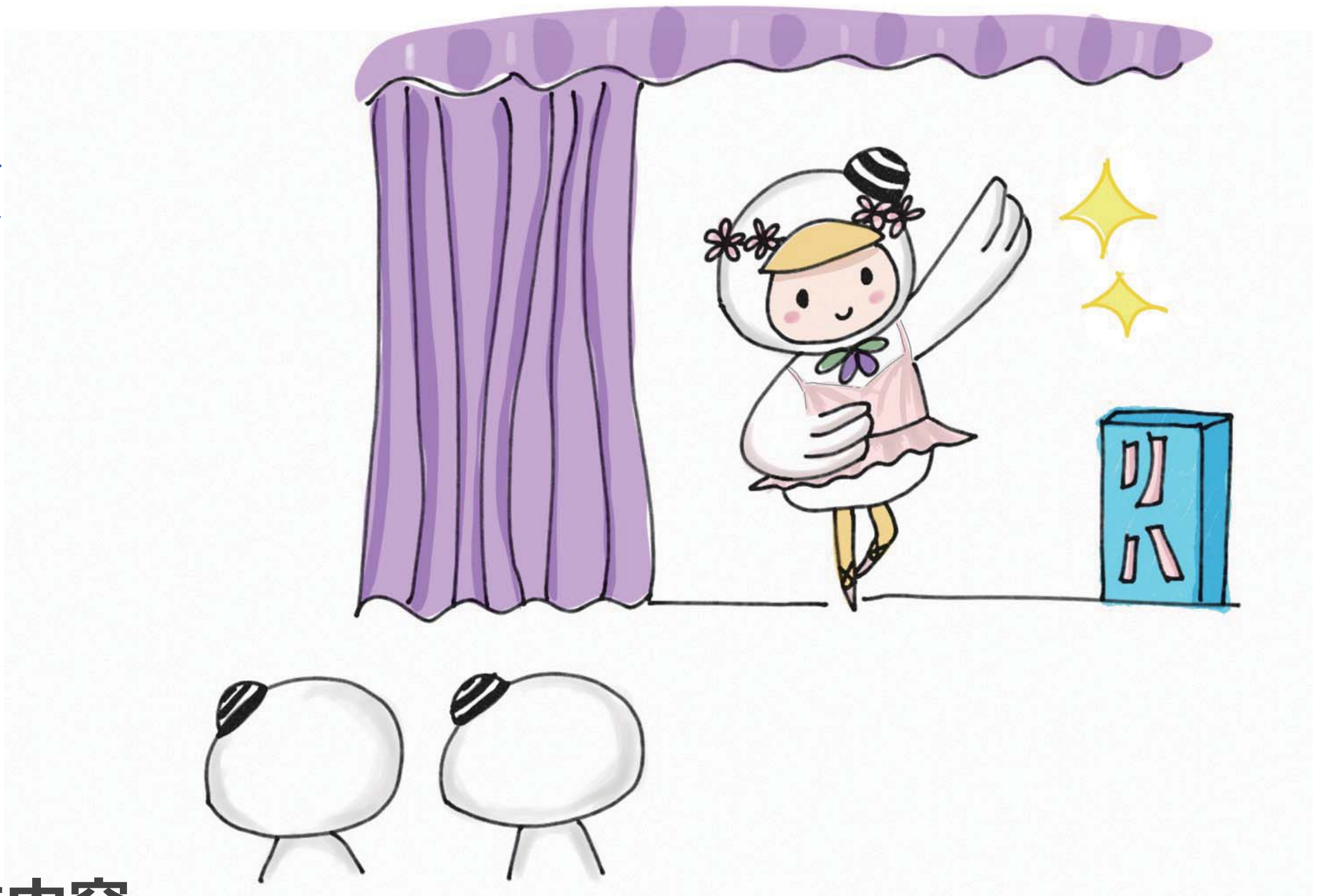
シール貼り位置

04

み こうかい あなたに魅せる公開リハーサル

練習やリハーサルを公開し施設の活動を見せる取組

つなぐ



事業内容

「あなたに魅せる公開リハーサル」では、演劇やダンス、コンサートなどのリハーサルや練習の様子を公開し、立ち寄った市民が自由に見学することで、その感想や意見を伝えることができるという取組です。また、施設を訪れた市民が窓口で声をかけることで、様々な活動を体験・見学できます。これらの取組により、市民は施設の活気を感じることができ、文化芸術団体は本番前に市民の反応を知り、それを本番に生かすほか、団体への新たな参加者を増やすことにつながります。

シール貼り位置

05

よる おやこ かた 15の夜～親子の語らい

文化芸術を通じて親子の絆を深めるプログラム

つなぐ



事業内容

「15の夜～親子の語らい」は、思春期の子どもとその親のための芸術鑑賞プログラムです。例えば、その年に15歳になる子どもたちとその親を対象に、母の日、父の日の夜などに無料のイベントを行います。家族で共に過ごす時間を増やし、一緒に観た演劇の話をするなど、文化芸術を通じた家族間のコミュニケーションを促します。家族の記憶に残る一夜にしたい取組です。

シール貼り位置



事業内容

新たな施設では、施設運営をするスタッフの勉強会、発表会を行い、各施設における課題の共有や、合同での企画会議など、苫小牧全体における文化・芸術活動、地域活動の活性化をしていきます。苫小牧市として取り組むべき課題と、施設ごとの役割について、スタッフが明確に理解できるほか、施設運営者同士の横のつながりもつくっていく取組です。

シール貼り位置

つなぐ

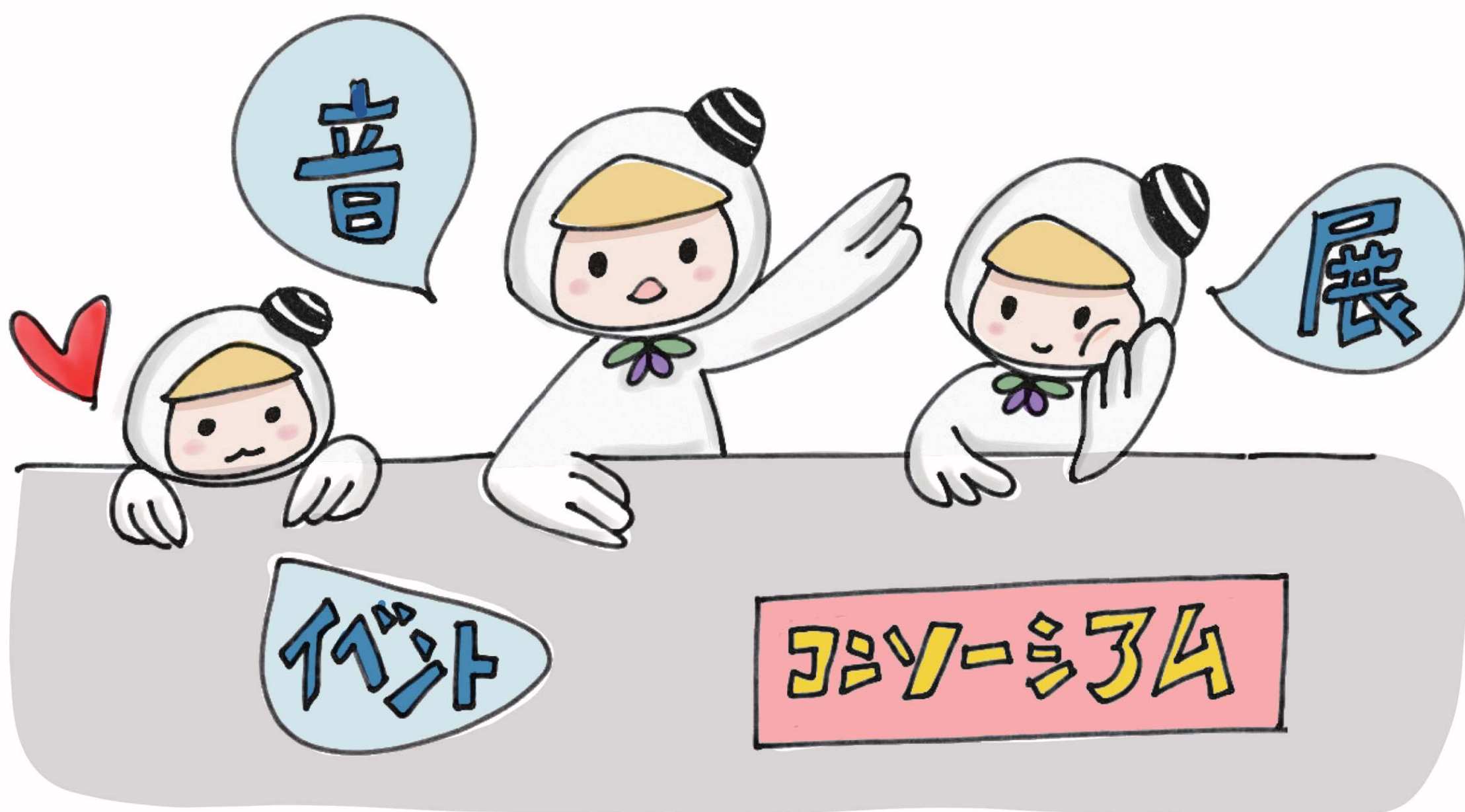


事業内容

「なかま to ナカマ」は、市民からやってみたいことを募集し、参加者を集めて実際に行う市民参加型の活動です。例えば、共用空間で、お金がなくてできなかったコンサートを行い、メンバーが集まったことで結成したバンドの初ライブを開催します。クラウドファンディングとは、誰かの企画に対して賛同者が資金を提供することです。しかしここでは、資金に限らず人材、アイデア、技術なども募集します。ただし、募集する事業は必ず共用空間を使ったイベントを行うという決まりをつくります。こうすることで新しい施設が仲間づくりや活動の拠点となり、共用空間をいつもイベントが行われる空間とすることができます。

シール貼り位置

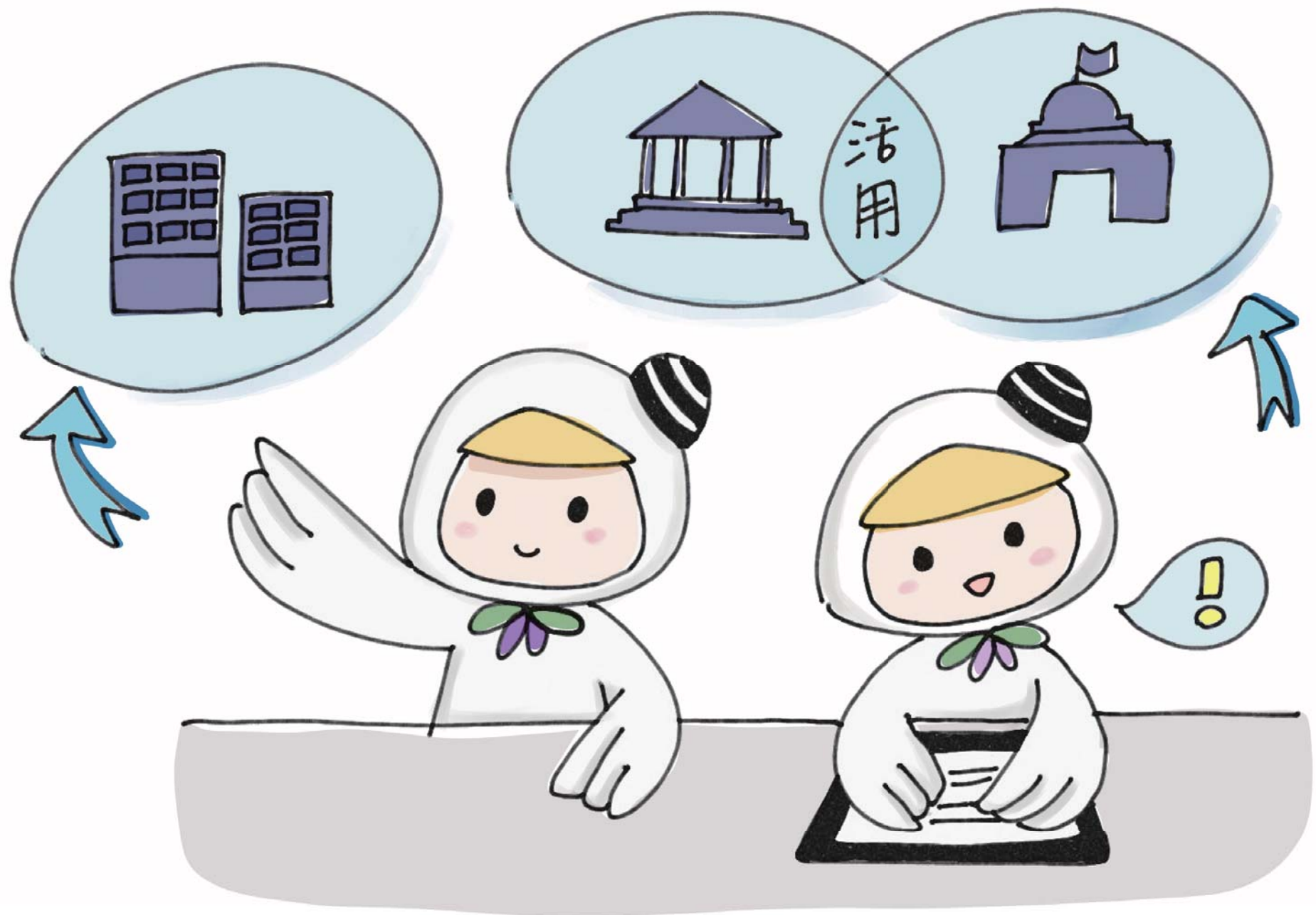
つなぐ



事業内容

「文化芸術コンソーシアム」は、新しい施設を中心に、市内の文化芸術活動団体の分野を超えた交流や連携を目的とした組織です。仲間づくり・交流を目的としたイベントや、ほかの分野と一緒に活動したり、つながりを持つことのできる場所づくりを行います。組織の運営は、市民の意見や活動状況に応じて、組織の体制や役割などを柔軟に変化できるようにします。

シール貼り位置

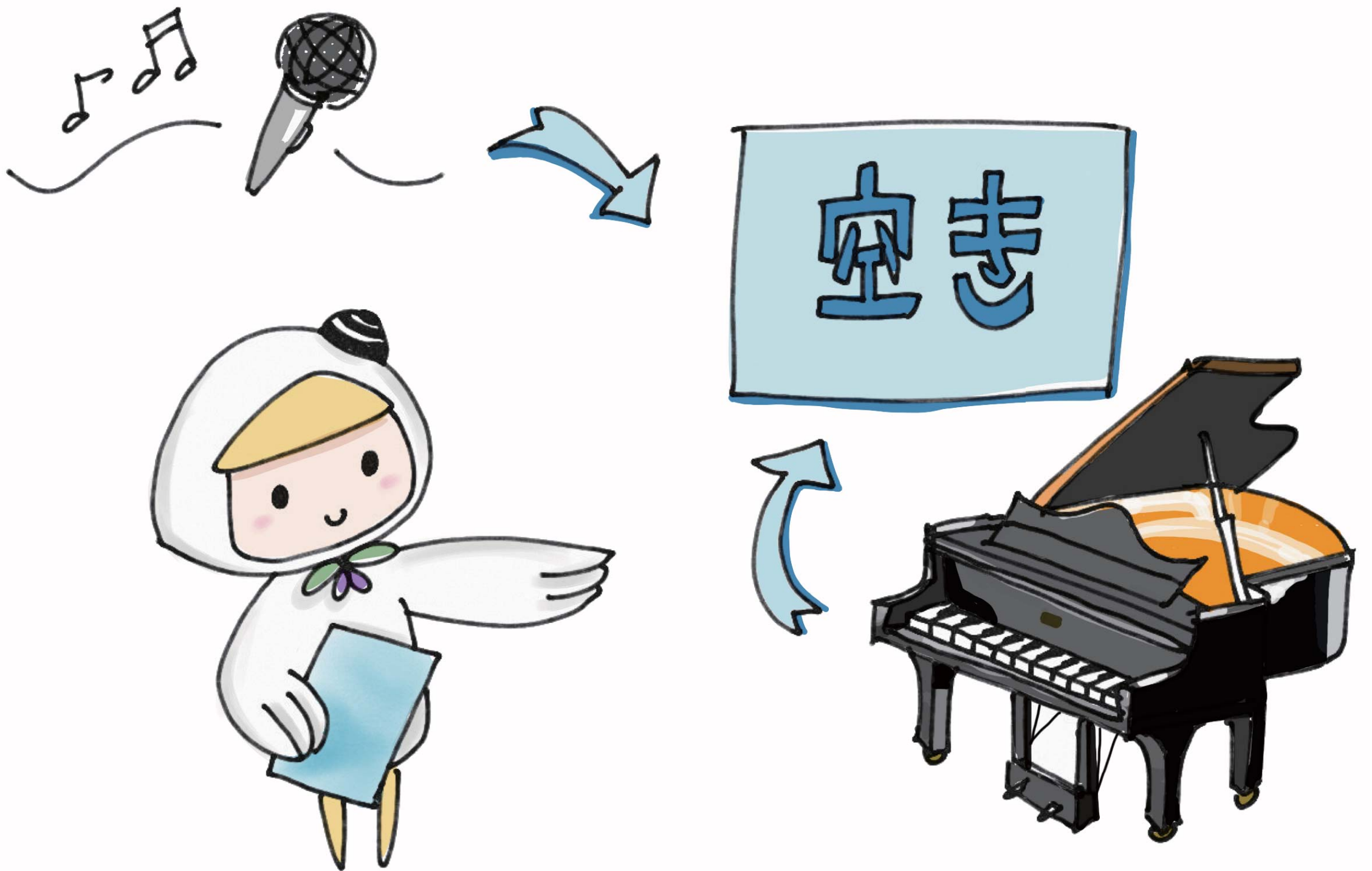


事業内容

施設を利用したいとき、これまでは施設に直接行って予約していました。そのため、先に予約がある場合は予約が取れず困ってしまいます。そこで、予約が重なった時には市内の他の施設にある部屋や、その他のサービスを見つけてくれる予約専門のスタッフをつくります。そうすることで、今よりもっと市内の公共施設を有効に利用できることを目指します。

シール貼り位置

つなぐ



事業内容

「空き部屋活用不動産」は、空き室を活用したイベントを考える組織です。これまでの利用状況や文化芸術団体とのやりとりから、空き室をうまく使ってくれそうな団体をお願いすることでイベントを行います。例えば、音楽練習室が空いたときに、カラオケサークルとピアノサークルに相談し、リサイタルを企画してもらいます。この活動は、空き室をなくすだけでなく、サークルの連携なども目的としています。

シール貼り位置